

山梨縣蚕業試驗場彙報  
第十号

14.2。

245

14.2□-245



1200501168013



始





142  
245

昭和十三年四月

山梨縣蠶業試驗場彙報 第一〇號

桑園混作ニ關スル試驗

有機質(自給)肥料肥効比較試驗 (第一報)

紙本



14.2  
245



昭和十三年四月

序

本號ニハ昭和九年ヨリ昭和十二年ニ亘ル四ケ年  
 間施行セル桑園混作ニ關スル試験並昭和六年ヨ  
 リ昭和十二年ニ亘ル間施行セル有機質(自給)肥料  
 肥効比較試験ノ成績ヲ取纏メ登載セリ



山梨縣蠶業試験場長 芳賀 董

正誤表

頁	行	又ハ表	誤	正
二五〇	砂礫地ノ表中	第二區五段目		
同	同	第三區五段目		
二六一	秋、冬作ノ表中	第一行目	穀・實	〇一
二七	表中	第五區五段目	以下穀實トアルハ穀實ノ誤リ	穀〇 實一
同	同	第六區三段目		二〇、九三
四四	同	第五區三段目		十二月十三日
四五	山腹(乾燥)地	一行目	隔畦拔株ニ行ヒ	五月廿八日
四八	表中	別區ノ一	隔畦拔株ヲ行ヒ	五月廿六日
四五	春夏作	一行目	内作ヲ行ハズ	間作ヲ行ハズ
六七	表中 標準	一段四行目	秋、冬作ト全ク	秋、冬作ト略
八一	野外雜草	三行目	主樹勢ニアリテ	樹勢ニアリテハ



1941  
S.P.S.



### 目次

#### 桑園混作ニ關スル試験

(一) 桑園混作トシテノ作物種類試験……………一

緒言……………一

一、試験ノ方法……………一

二、試験ノ成績……………八

    A 桑ニ關スル調査……………八

    B 混作物ニ關スル調査……………二六

三、試験成績ノ概要……………四四

    1 成績ノ概括……………四四

    2 考察並摘要……………四七

    附 表……………五二

(二) 混作桑園ニ於ケル畦ノ配置ニ關スル試験……………五七

緒言……………五七

一、試験ノ方法……………五七

二、試験ノ成績……………六〇

    A 桑樹ニ關スル調査……………六〇

    B 混作物ノ收穫ニ關スル調査……………六三

三、試験成績ノ概評……………六四



桑園混作トシテノ作物種類試験

1	成績概括	四
2	總括並摘要	五
附	表	六
參	考	六
文	獻	六
調	査	六
中	ニ	六
於	ケ	六
ル	氣	六
象	概	六
概	況	六
有	機	六
質	(	六
(	自	六
給	)	六
肥	料	六
肥	効	六
比	較	六
試	驗	六
緒	言	六
一、	試	六
試	驗	六
ノ	方	六
法	法	六
(一)	試	六
試	驗	六
區	ノ	六
設	定	六
(二)	供	六
供	試	六
桑	園	六
ノ	概	六
況	況	六
(三)	調	六
調	査	六
事	項	六
二、	試	六
試	驗	六
ノ	成	六
績	績	六
(一)	發	六
發	芽	六
ニ	關	六
ス	ル	六
調	査	六
(二)	收	六
收	葉	六
量	ニ	六
關	ス	六
ル	調	六
査	査	六
(三)	枝	六
枝	條	六
調	査	六
(四)	樹	六
樹	勢	六
調	査	六
三、	成	六
成	績	六
ノ	概	六
括	並	六
考	察	六
A	成	六
成	績	六
概	括	六
B	考	六
考	察	六
C	總	六
總	括	六
附	表	六



桑園混作トシテノ作物種類試験

1	成績概括	六四
2	總括並摘要	六五
附	表	六五
参	考 文 献	六六
調	査中ニ於ケル氣象概況	六七
有機質(自給)肥料肥効比較試験		
緒 言		
一、	試験ノ方法	七四
(一)	試験區ノ設定	七四
(二)	供試桑園ノ概況	七五
(三)	調 査 事 項	七五
二、	試験ノ成績	七六
(一)	發芽ニ關スル調査	七六
(二)	收葉量ニ關スル調査	七七
(三)	枝 條 調 査	七七
(四)	樹 勢 調 査	七八
三、	成績ノ概括並考察	七八
A	成 績 概 括	七八
B	考 察	八〇
C	總 括	八二
附	表	八三



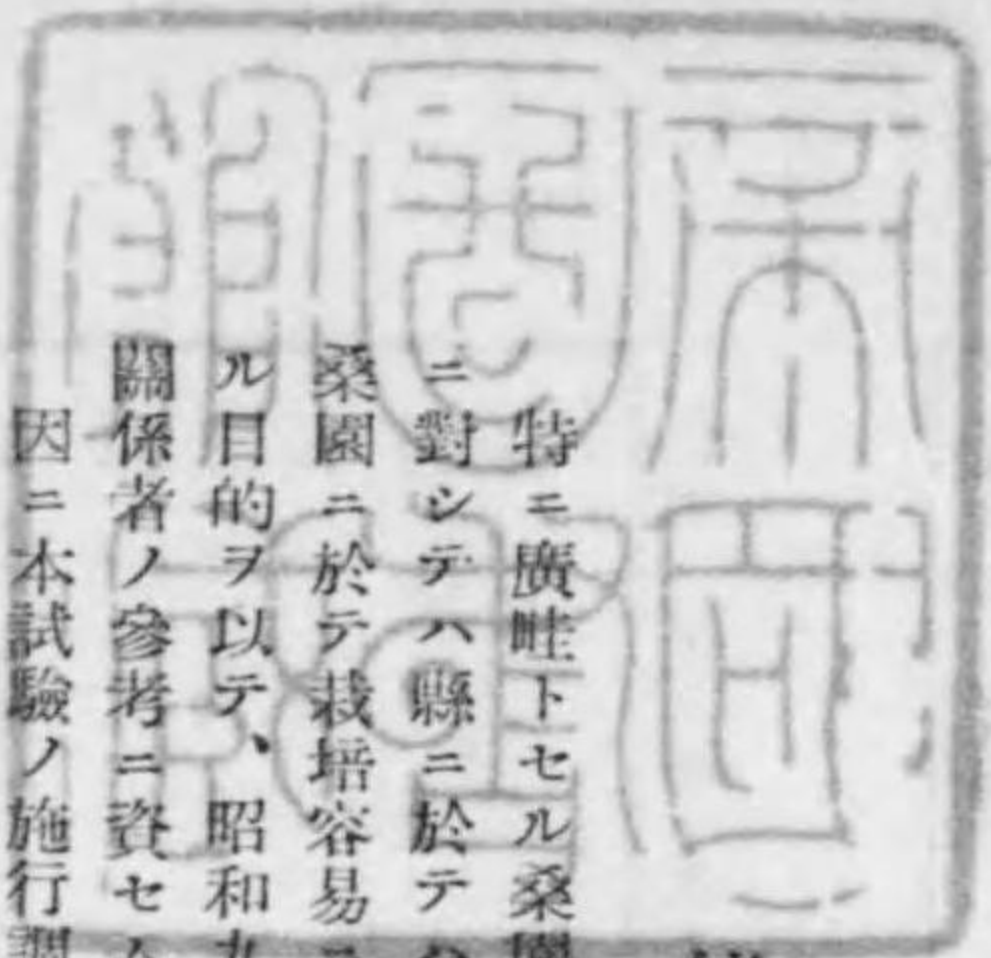
# 桑園混作ニ關スル試驗

## 一、桑園混作トシテノ作物種類試驗

農林技手 宮 下 正道  
助 手 梅 田 浩

### 緒 言

特ニ廣畦下セル桑園（現在ノ桑園ヲ隔畦ニ拔株セル如キ場合）ニ他ノ作物ヲ栽培セントスル場合、即チ、混作桑園ニ對シテハ縣ニ於テハ助成金ノ交付ヲ以テ獎勵シツ、アル現狀ニアリテ、之ガ混作獎勵ノ資料トスベク、カ、ル混作桑園ニ於テ栽培容易ニシテ且生産物ノ處理ニ困難ヲ來スコトナク、然モ桑葉收穫量並葉質ニ影響少ナキ作物ヲ撰擇スル目的ヲ以テ、昭和九年十月既設桑園ノ一部拔株ヲ行ヒ昭和十二年ニ至ル三ケ年間調査ヲ施行セル成績ヲ示シ、斯業關係者ノ參考ニ資セムトス  
因ニ本試驗ノ施行調査ニ當リテハ千野熊男、古屋典保、高橋未雄ノ諸氏ニ負フ所多シ



## 一、試驗ノ方法

### 1、試驗區ノ設定

イ、壤土地及砂礫地



試驗區	畦間	秋、混作物ノ種類	備考
第一區	三、〇〇	青刈大豆	混作ヲ行ハズ
第二區	三、〇〇	陸刈大豆	
第三區	三、〇〇	青刈大豆	
第四區	三、〇〇	馬鈴薯	
第五區	三、〇〇	里鈴豆	
第六區	三、〇〇	青刈大豆	
第七區	三、〇〇	青刈大豆	
第一ノ	一、五〇	青刈大豆	間作ヲ行ハズ
第二ノ	一、五〇	青刈大豆	

備考 第二區—第七區ノ六區ニハ露地栽培區ヲ設置ス  
 〇、山腹(乾燥)地

試驗區	畦間	秋、混作物ノ種類	備考
第一區	三、〇〇	青刈大豆	混作ヲ行ハズ
第二區	三、〇〇	陸刈大豆	
第三區	三、〇〇	青刈大豆	
第四區	三、〇〇	青刈大豆	
第五區	三、〇〇	青刈大豆	
第一ノ	一、五〇	青刈大豆	間作ヲ行ハズ

別區ノ二 一、五〇 ザイトウイツケン 青刈大豆  
 備考 第二區—第五區ノ四區ニハ露地栽培區ヲ設置ス  
 2、供試桑園ノ概況

所在	地質	桑品	樹齡	栽植距離	畦間	株間
(1) 所在	壤土 砂礫地					
(2) 土	壤土 砂礫地					
(3) 桑	壤土 砂礫地	種				
(4) 樹	壤土 砂礫地		齡			
(5) 栽植距離	壤土 砂礫地					

但シ別區ハ各地共 畦間一、五〇株 間ハ前表ノ通り

本場西構外第九號地 西山梨郡甲運村和戸  
 五十五兩桑園 東八代郡石和町  
 萬力桑園上ノ畑 東山梨郡上萬力村  
 壇壤土 平坦地  
 砂土(礫ヲ含ム) 平坦地  
 壤土(表土淺シ) 山腹傾斜地

一ノ瀬  
 大正十年 栽植  
 大正十五年  
 大正十五年

畦間 三、〇〇 株間 〇、九〇九  
 畦間 三、〇〇 株間 〇、七五七  
 畦間 三、〇〇 株間 〇、六〇六



肥料ノ種類 施用量	地別		施用量	空素成分	磷分	加量	施用量	山腹(乾燥)地	
	壤土及砂礫地	山腹(乾燥)地						空素成分	磷分
堆肥	七五〇	三三五	七五〇	三三五	一五〇	三三五	一〇〇〇	一六〇〇	一、六〇〇
綠肥	三五五	三三五	三五五	三三五	一五〇	三三五	四〇〇	八、二〇〇	一、六〇〇
硫酸アンモニア	二五〇	七、六八	二五〇	七、六八	四、八七五	二、〇〇〇	三〇〇	五、八五〇	五、八五〇
過燐酸石灰	一〇〇	七、五〇	一〇〇	七、五〇	四、八〇〇	一、〇〇〇	一四〇	四、五〇〇	四、五〇〇
硫酸加里	五〇〇	三、六〇〇	五〇〇	三、六〇〇	七、二五	九、五五〇	三〇〇	七、九〇〇	七、九〇〇
大豆粕	一五、〇三八	七、二五	一五、〇三八	七、二五	九、五五〇	一六、三六〇	二、二六〇	七、九〇〇	二、二六〇
計									

3、桑園ノ施肥量

對一〇アール

畦ノ方向	畦ノ面積	肥料ノ種類	施用量	空素成分	磷分	加量	施用量	空素成分	磷分	加量
(6) 畦ノ方向	壤土 砂礫地	堆肥	七五〇	三三五	一五〇	三三五	一〇〇〇	一六〇〇	一、六〇〇	一、六〇〇
(7) 仕立	壤土 砂礫地	硫酸アンモニア	二五〇	七、六八	四、八七五	二、〇〇〇	三〇〇	五、八五〇	五、八五〇	五、八五〇
(8) 供試面積	壤土 砂礫地	過燐酸石灰	一〇〇	七、五〇	四、八〇〇	一、〇〇〇	一四〇	四、五〇〇	四、五〇〇	四、五〇〇
	山腹(乾燥)地	硫酸加里	五〇〇	三、六〇〇	七、二五	九、五五〇	三〇〇	七、九〇〇	七、九〇〇	七、九〇〇
		大豆粕	一五、〇三八	七、二五	九、五五〇	一六、三六〇	二、二六〇	七、九〇〇	二、二六〇	二、二六〇

春秋兼用 根刈拳式仕立

對一區 〇、七アール

對一區 〇、六アール

4、混作物ノ耕種概況

(1) 混作物ノ播種量

A 壤土地及砂礫地

混作物ノ種類	對一〇アール	對一區(〇、七アール)	混作物ノ栽植距離	一畦間ニ設	備考
大豆	一五、〇〇〇	一、〇五〇	〇、七〇	四	種子量ハ適宜
陸里	三、〇〇〇	〇、二一〇	〇、七〇	三	九月上旬播種ヲ行ヒ假
馬鈴薯	一〇〇	七	〇、七〇	四	條播、別區ハ半量トス
蠶豆	一五、〇〇〇	一、〇五〇	〇、七〇	四	
ザイトウイッケン	七、〇〇〇	〇、四九〇	〇、七〇	三	
藝苔	七、〇〇〇	〇、四九〇	〇、七〇	四	
大小麥	四、〇〇〇	〇、二八〇	〇、七〇	三	
大小麥	五、〇〇〇	〇、三三〇	〇、七〇	三	
青刈大豆	一五、〇〇〇	一、〇五〇	〇、七〇	四	四月上旬苗床ニ下シ正
	三、〇〇〇	〇、二一〇	〇、七〇	三	常ニ發芽セズラフ移植ス
	一〇〇	七	〇、七〇	四	四、五粒点播

B 山腹(乾燥)地

混作物ノ種類	對一〇アール	對一區(〇、六アール)	混作物ノ栽植距離	一畦間ニ設	備考
大豆	一五、〇〇〇	一、〇五〇	〇、七〇	四	
陸里	三、〇〇〇	〇、二一〇	〇、七〇	三	
馬鈴薯	一〇〇	七	〇、七〇	四	
蠶豆	一五、〇〇〇	一、〇五〇	〇、七〇	四	
ザイトウイッケン	七、〇〇〇	〇、四九〇	〇、七〇	三	
藝苔	七、〇〇〇	〇、四九〇	〇、七〇	四	
大小麥	四、〇〇〇	〇、二八〇	〇、七〇	三	
大小麥	五、〇〇〇	〇、三三〇	〇、七〇	三	
青刈大豆	一五、〇〇〇	一、〇五〇	〇、七〇	四	
	三、〇〇〇	〇、二一〇	〇、七〇	三	
	一〇〇	七	〇、七〇	四	



混作物ノ種類	肥料ノ種類	
	對一區	對一畝
大麥	五、〇〇〇	〇、七〇〇
小麥	四、〇〇〇	〇、七〇〇
ザイトウイッケン	七、〇〇〇	〇、一〇〇
陸稻	三、〇〇〇	〇、六〇〇
黍稻	一、五〇〇	〇、七〇〇
青刈大豆	一、五〇〇	〇、九〇〇
肥料	對一區 (〇、七、アール)	對一畝
堆肥	〇、三〇〇	〇、七〇〇
人糞尿	〇、二〇〇	〇、七〇〇
硫酸アンモニウム	〇、四〇〇	〇、七〇〇
過燐酸石灰	〇、四〇〇	〇、七〇〇
硫酸大豆	〇、四〇〇	〇、七〇〇
藥灰米糠	〇、四〇〇	〇、七〇〇
堆肥	〇、三〇〇	〇、七〇〇
人糞尿	〇、二〇〇	〇、七〇〇
硫酸アンモニウム	〇、四〇〇	〇、七〇〇
過燐酸石灰	〇、四〇〇	〇、七〇〇
硫酸大豆	〇、四〇〇	〇、七〇〇
藥灰米糠	〇、四〇〇	〇、七〇〇
肥料	對一區 (〇、七、アール)	對一畝
堆肥	〇、三〇〇	〇、七〇〇
人糞尿	〇、二〇〇	〇、七〇〇
硫酸アンモニウム	〇、四〇〇	〇、七〇〇
過燐酸石灰	〇、四〇〇	〇、七〇〇
硫酸大豆	〇、四〇〇	〇、七〇〇
藥灰米糠	〇、四〇〇	〇、七〇〇

(2) 混作物ノ肥料  
A 壤土地及砂礫地

混作物ノ種類	肥料ノ種類	
	對一區	對一畝
大麥	五、〇〇〇	〇、七〇〇
小麥	四、〇〇〇	〇、七〇〇
ザイトウイッケン	七、〇〇〇	〇、一〇〇
陸稻	三、〇〇〇	〇、六〇〇
黍稻	一、五〇〇	〇、七〇〇
青刈大豆	一、五〇〇	〇、九〇〇
肥料	對一區 (〇、七、アール)	對一畝
堆肥	〇、三〇〇	〇、七〇〇
人糞尿	〇、二〇〇	〇、七〇〇
硫酸アンモニウム	〇、四〇〇	〇、七〇〇
過燐酸石灰	〇、四〇〇	〇、七〇〇
硫酸大豆	〇、四〇〇	〇、七〇〇
藥灰米糠	〇、四〇〇	〇、七〇〇
堆肥	〇、三〇〇	〇、七〇〇
人糞尿	〇、二〇〇	〇、七〇〇
硫酸アンモニウム	〇、四〇〇	〇、七〇〇
過燐酸石灰	〇、四〇〇	〇、七〇〇
硫酸大豆	〇、四〇〇	〇、七〇〇
藥灰米糠	〇、四〇〇	〇、七〇〇

混作物ノ種類	肥料ノ種類
里芋	馬鈴薯
陸稻	馬鈴薯
青刈大豆	馬鈴薯

B 山腹(乾燥)地

混作物ノ種類	肥料ノ種類	
	對一區	對一畝
大麥	三、〇〇〇	〇、八〇〇
小麥	二、〇〇〇	〇、七〇〇
ザイトウイッケン	一、〇〇〇	〇、九〇〇
陸稻	二、〇〇〇	〇、九〇〇
黍稻	一、〇〇〇	〇、七〇〇
青刈大豆	一、〇〇〇	〇、九〇〇
肥料	對一區 (〇、六、アール)	對一畝
大豆粕	二、一〇〇	〇、七〇〇
硫酸アンモニウム	一、八〇〇	〇、七〇〇
過燐酸石灰	一、五〇〇	〇、七〇〇
硫酸加里	一、三〇〇	〇、七〇〇

(3) 混作物ノ品種

混作物ノ種類	品名
大麥	昭和十一年 關取
小麥	昭和十二年 水晶關取
根	練馬大根



青刈大豆	陸里馬鈴薯	蕎麥
昭和十年 普通白大豆	夜ノ雪餅	昭和十二年ハ ヘアリヴエツチ ヲ播種セリ
昭和十一年 清津大豆(朝鮮産)		昭和十、十二年 薄赤(アールローズ)
昭和十二年 黒千石		昭和十一年 男爵

### 二、試験ノ成績

#### A 桑樹ニ關スル調査

(一) 收穫量ニ關スル調査

イ、壤土 地 (對一〇アール)

試験區	年次	春			晩秋		兩期計		指數
		總量	新梢量	葉量	葉量	葉量			
第一區	昭和十一年	一、五七、四〇〇	七六九、七四	五九、五八六	七四八、一七六	一、三三、七七一			
	昭和十一年	一、五三、四〇〇	九七、七七一	七〇〇、二四	八五〇、二八六	一、五〇、五〇〇			
	昭和十二年	一、四九、二八六	八四〇、〇〇〇	六三、六八六	六三七、五四三	一、二六、九三九			
平均	均	一、五二、九四三	八四五、七六二	六三、八二八	七四五、三三五	一、三三、七七一		六九、〇	

第 二 區	昭和十一年	昭和十一年	昭和十一年	昭和十一年	昭和十一年	昭和十一年	昭和十一年	昭和十一年	昭和十一年
第二區	昭和十一年	一、六八〇、〇〇〇	七五〇、八五七	五七四、四〇〇	六七二、六七二	一、二四七、〇七二			
	昭和十一年	一、三四、八八一	五六九、一四三	四九、七〇〇	六九二、五八六	一、二三、二八六			
	昭和十二年	一、四三、八五七	七三三、一四三	五四三、四一五	六二五、五四三	一、二六、八九八			
平均	均	一、四三、二五九	六七七、七四	五五、八三八	六六三、六〇〇	一、二七、四三八		五九、〇	
第三區	昭和十一年	一、四三、七二五	六八二、二八五	五二、九四三	六八六、四〇〇	一、二〇、八三三			
	昭和十一年	一、〇八、〇四	五二、一四三	四二、六〇〇	八六〇、五七一	一、二八、一七一			
	昭和十二年	一、三三、一四三	六七五、四一九	五二、三三九	七〇九、三七二	一、二二、七〇二			
平均	均	一、二六、二九一	六五、六五二	四八、五、六四	七五、一二四	一、三三、七三三		六一、九	
第四區	昭和十一年	一、四七、一四三	六八五、七二四	五四、五七一	五七六、五七六	一、一〇、一四七			
	昭和十一年	一、〇四、五七三	六八、八五七	四八、五、八六	六七三、四二九	一、一八、九一五			
	昭和十二年	一、一四、五、四三	六六五、一四三	五四、一五七	五九六、七四三	一、〇九、九〇〇			
平均	均	一、二五、二八六	六六九、九〇四	五二、四〇五	六〇五、五八二	一、二六、九八七		五五、九	
第五區	昭和十一年	一、六一、四九	七三三、七二四	五六、二八六	七三三、八五六	一、二五、一四三			
	昭和十一年	一、三五、〇八七	七六、八五七	五八、七、六四三	八三八、四二九	一、四六、〇七二			
	昭和十二年	一、六三、〇〇〇	八四三、四二九	六六、六、三四	六九三、九四三	一、三〇、二五七			
平均	均	一、五二、四九	七八、〇〇〇	六〇、五、〇八一	七四八、七四三	一、三三、八二四		六七、七	
第六區	昭和十一年	一、二四、二八六	五七九、四九	四四、六一五七	五九三、七三六	一、〇三、八九三			
	昭和十一年	一、一八、七六〇	六九一、五七一	五四、九七一	六七八、八五七	一、〇三、八九三			
	昭和十二年	一、三七八、二八五	七八八、五七一	五八三、五四三	五六七、四二九	一、一五、九七三			
平均	均	一、二六七、四九〇	六八八、八五二	五八、二三四	六三三、三四一	一、二三、五六五		五六、六	



別區ノ二	別區ノ一	第七區	試驗區	
			年次	指數
平 均	昭和十一年 均	昭和十一年 均	總量	新梢量
昭和十一年 均	昭和十一年 均	昭和十一年 均	葉量	晚秋蠶期
昭和十一年 均	昭和十一年 均	昭和十一年 均	兩期計	
昭和十一年 均	昭和十一年 均	昭和十一年 均		

口、砂 礫 地

第一區	試驗區	年次	春		葉量	晚秋蠶期	兩期計	指數
			總量	新梢量				
平 均	昭和十一年 均	昭和十一年 均	二、六七一、八七五	一、三六六、四九九	一、〇三二、一〇〇	八四〇、八四〇	一、八五五、九四〇	一〇五、〇
昭和十一年 均	昭和十一年 均	昭和十一年 均	二、七四七、五七五	一、五九〇、五七一	一、二五、九五七	九〇〇、〇〇〇	二、〇〇五、九五七	
昭和十一年 均	昭和十一年 均	昭和十一年 均	二、二四五、七二四	一、三六二、八七七	一、〇六一、六五七	八三七、八七七	一、九四四、五四四	
昭和十一年 均	昭和十一年 均	昭和十一年 均	二、五五三、三八二	一、四四六、六八九	一、〇八一、五七一	八五九、五六六	一、九四二、一三七	

第六區	第五區	第四區	第三區	第二區	試驗區	
					年次	指數
平 均	昭和十一年 均	昭和十一年 均	昭和十一年 均	昭和十一年 均	總量	新梢量
昭和十一年 均	昭和十一年 均	昭和十一年 均	昭和十一年 均	昭和十一年 均	葉量	晚秋蠶期
昭和十一年 均	昭和十一年 均	昭和十一年 均	昭和十一年 均	昭和十一年 均	兩期計	
昭和十一年 均	昭和十一年 均	昭和十一年 均	昭和十一年 均	昭和十一年 均		



別區ノ一	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	春		晚秋		兩期計		指數
				總量	新梢量	葉量	葉量	葉量	葉量	
別區ノ二	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	二,八四八,五七三	一,六一,四九元	一,〇七二,六〇〇	六八二,一一〇	一,七五三,七二〇	一,〇〇,〇〇〇	一〇五,八
別區ノ一	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	二,四四二,八五七	一,三〇〇,〇〇〇	八五八,〇〇〇	五六一,五六六	一,四一九,五六六	一,〇〇,〇〇〇	一〇〇,〇
別區ノ二	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	二,七三四,二八五	一,六三七,一四三	一,二七三,七二四	一,一〇〇,三三八	二,三七三,九四二	一,〇〇,〇〇〇	一〇〇,〇
別區ノ一	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	二,五七五,三三八	一,四八二,八五七	一,〇六七,七二一	七八一,三〇八	一,八四九,〇七九	一,〇〇,〇〇〇	一〇〇,〇
別區ノ二	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	二,六五七,一四三	一,四八二,八五七	一,〇〇〇,二四三	六七三,五三〇	一,七三三,七三三	一,〇〇,〇〇〇	一〇五,八
別區ノ一	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	三,〇〇〇,〇〇〇	一,八四五,〇〇〇	一,二九六,五七一	五五二,八五七	一,八四九,四一八	一,〇〇,〇〇〇	一〇五,八
別區ノ二	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	二,七四二,八五七	一,六二八,五七一	一,〇六六,一四四	九八一,八五七	二,二八七,九七一	一,〇〇,〇〇〇	一〇五,八
別區ノ一	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	二,八〇〇,〇〇〇	一,六五二,一四三	一,三〇〇,九七六	七三六,〇八一	一,九七〇,五七七	一,〇〇,〇〇〇	一〇五,八
別區ノ二	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	一,三七一,四四九	七八〇,〇〇〇	五八八,九〇〇	五四四,四八七	一,一三三,三六七	一,〇〇,〇〇〇	一〇五,八
別區ノ一	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	一,三三一,四三三	七六九,二八六	五三三,〇七一	五四〇,〇〇〇	一,〇七一,〇三一	一,〇〇,〇〇〇	一〇五,八
別區ノ二	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	一,四四八,五七一	九二一,四九元	七四二,六七一	五二二,一四三	一,二五四,八四一	一,〇〇,〇〇〇	一〇五,八
別區ノ一	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	一,三七七,一四四	八三三,五五二	六〇〇,八八一	五三二,二二〇	一,一五三,〇九一	一,〇〇,〇〇〇	一〇五,八

八、山腹(乾燥)地(對一〇アール)

第一區	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	春		晚秋		兩期計		指數
				總量	新梢量	葉量	葉量	葉量	葉量	
第一區	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	一,一六四,三三三	七六七,八三三	五八八,二〇〇	六七四,三三六	一,一九五,六三六	一,〇〇,〇〇〇	一〇五,八
第一區	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	一,一八九,七七〇	七九八,二二七	五五八,七五〇	三六九,〇〇〇	九七七,七五〇	一,〇〇,〇〇〇	一〇五,八
第一區	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	九九〇,〇〇〇	七〇五,〇〇〇	五五〇,〇〇〇	七三〇,〇〇〇	一,二七〇,〇〇〇	一,〇〇,〇〇〇	一〇五,八
第一區	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	一,一四四,七八	七五七,〇二六	五五五,六五〇	五七五,四九	一,一三二,二九	一,〇〇,〇〇〇	一〇五,八

別區ノ一	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	指數
第二區	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	一,〇九六,八八三	六九二,〇八三	四九八,三〇〇	五〇八,八四九	一,〇〇七,一四九	一,〇〇,〇〇〇	一〇五,八	四〇,六
第三區	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	一,〇四六,三三四	七四四,二六七	五三三,三三三	三六九,〇〇〇	九〇四,二三三	一,〇〇,〇〇〇	一〇五,八	四〇,六
第三區	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	八三三,七七〇	五三三,五八三	三九〇,七七七	四六九,九七一	八六〇,六八八	一,〇〇,〇〇〇	一〇五,八	四〇,六
第三區	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	八六九,六元	五八六,九一七	四二八,三八三	三六九,〇〇〇	七七七,三八三	一,〇〇,〇〇〇	一〇五,八	四〇,六
第三區	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	五九四,〇〇〇	三八七,〇〇〇	三〇一,八六七	四二五,〇〇〇	七六六,八六七	一,〇〇,〇〇〇	一〇五,八	四〇,六
第三區	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	七六九,三二二	四九二,五〇〇	三七三,六五六	四二二,三三三	七九四,九八〇	一,〇〇,〇〇〇	一〇五,八	四〇,六
第四區	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	九七八,七五〇	五七三,七五〇	四三九,九一七	五六八,二六八	一,〇〇七,一八五	一,〇〇,〇〇〇	一〇五,八	四〇,六
第四區	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	一,〇八九,一九二	六九七,三〇〇	五五九,九一七	五六七,〇〇〇	一,〇八一,九一七	一,〇〇,〇〇〇	一〇五,八	四〇,六
第四區	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	一,〇九八,〇〇〇	七一一,〇〇〇	五七〇,三三三	五六〇,〇〇〇	一,一三〇,三三三	一,〇〇,〇〇〇	一〇五,八	四〇,六
第四區	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	一,〇五五,三四	六六〇,六八三	五〇八,三五六	五六一,七五六	一,〇七〇,二二二	一,〇〇,〇〇〇	一〇五,八	四〇,六
第五區	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	一,二五七,〇八四	六六六,四五〇	四九九,八三三	七五七,四九	一,二五七,六二二	一,〇〇,〇〇〇	一〇五,八	四〇,六
第五區	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	一,五五六,七四二	九二八,七七	七三三,九六七	五八五,〇〇〇	一,二八八,九六七	一,〇〇,〇〇〇	一〇五,八	四〇,六
第五區	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	一,四一七,五〇〇	九〇〇,〇〇〇	六九六,六〇〇	六八五,〇〇〇	一,三八一,六〇〇	一,〇〇,〇〇〇	一〇五,八	四〇,六
第五區	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	一,四〇〇,四四二	八三三,七三	六三三,四六七	六七五,八〇九	一,三〇九,二七六	一,〇〇,〇〇〇	一〇五,八	四〇,六
第五區	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	二,七〇〇,〇〇〇	一,六七〇,六七	一,一三二,三三三	九三三,八三	二,一三五,〇五五	一,〇〇,〇〇〇	一〇五,八	四〇,六
第五區	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	二,五二一,二四七	一,六五九,一六七	一,二四八,四六八	七三九,六六七	一,九八八,一三五	一,〇〇,〇〇〇	一〇五,八	四〇,六
第五區	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	一,八〇〇,〇〇〇	一,二〇〇,〇〇〇	九四三,六〇〇	七七五,〇〇〇	一,七〇〇,六〇〇	一,〇〇,〇〇〇	一〇五,八	四〇,六
第五區	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	昭和十一年 昭和十一年 平均	二,三四〇,三八二	一,五〇九,六一	一,一三五,一〇〇	八〇九,四九六	一,九四四,五九六	一,〇〇,〇〇〇	一〇五,八	四〇,六



別 區 ノ 二	昭和十一年		昭和十二年		平 均	
	平	昭	平	昭		
	一、七五、〇〇〇	一、〇六三、一六七	一、四〇、〇〇〇	七、七〇、八〇〇	八七六、〇九九	一、六四六、八九九
	一、六六六、六六六	一、〇五五、〇〇〇	九〇、〇〇〇	八二、四三三	六五八、六六七	一、四七一、一〇〇
	一、四五〇、〇〇〇	九〇、〇〇〇	七、七〇、〇〇〇	七、七〇、〇〇〇	六六〇、〇〇〇	一、四〇〇、一〇〇
	一、六三三、八九九	一、〇三三、七三三	七、八四、四七八	七、八四、四七八	七三三、五八九	一、五二六、〇六七
						七、八〇〇

一四

(二) 枝條ニ關スル調査

A 春蠶收穫當時ニ於ケル調査

イ、壤 土 地

試 驗 區	年 次	一株 均 條 數	枝 條 長 一 條 對 節 間		本 硬 度	發 芽 數		不 發 芽 數	總 芽 數
			長	徑		發 芽 數	不 發 芽 數		
第 一 區	昭 和 十 一 年	一、四、八	一、五、三	一、二、八	二、八、九	二、六、三〇	四、六、六	四、一	五、〇、七
	平 均	一、五、六	一、五、四〇	一、二、六	三、一、四	三、四、五	四、一、六	一、〇、七	五、一、三
第 二 區	昭 和 十 一 年	一、一、三	一、六、六	一、三、七	二、九、三	二、六、三五	四、五、一	四、七	四、九、八
	平 均	一、四、〇	一、六、四〇	一、三、八	三、一、一	二、九、〇五	四、二、五	一、〇、一	五、一、六
第 三 區	昭 和 十 一 年	一、三、七	一、四、〇六	一、六、五	二、八、一	三、三、九〇	五、一、〇	五、八	五、六、八
	平 均	一、四、二	一、六、五〇	一、三、五	三、二、五	三、一、〇〇	四、二、三	一、二、四	五、四、七
第 一 區	昭 和 十 一 年	一、一、三	一、六、六	一、三、七	二、九、三	二、六、三五	四、五、一	四、七	四、九、八
	平 均	一、五、六	一、五、四〇	一、二、六	三、一、四	三、四、五	四、一、六	一、〇、七	五、一、三
第 二 區	昭 和 十 一 年	一、四、〇	一、六、四〇	一、三、八	三、一、一	二、九、〇五	四、二、五	一、〇、一	五、一、六
	平 均	一、二、七	一、六、三八	一、三、八	三、〇、二	二、七、七〇	四、三、八	七、四	五、一、二
第 三 區	昭 和 十 一 年	一、三、七	一、四、〇六	一、六、五	二、八、一	三、三、九〇	五、一、〇	五、八	五、六、八
	平 均	一、四、二	一、六、五〇	一、三、五	三、二、五	三、一、〇〇	四、二、三	一、二、四	五、四、七

別 區 ノ 二	昭和十一年		昭和十二年		平 均			
	平	昭	平	昭				
第 四 區	二、一、一	一、四、七	一、一、〇	二、六、六	二、九、六五	四、七、五	四、五	五、〇、〇
	三、八	一、四、〇	一、一、四	三、一、一	三、八、二五	五、二、七	九、三	六、二、〇
第 五 區	二、四、七	一、四、三	一、〇、一	二、八、二	二、六、一五	四、一、七	三、八	四、五、五
	一、四、四	一、六、一〇	一、四、〇	三、一、五	三、四、一五	四、三、二	九、二	五、二、四
第 六 區	一、二、二	一、六、六〇	一、三、八	二、九、九	三、〇、一五	四、一、九	六、五	四、九、〇
	一、一、二	一、六、六〇	一、三、八	三、一、七	三、三、六〇	四、五、二	七、五	五、二、七
第 七 區	一、二、七	一、四、八二	一、三、三	二、八、四	二、四、八〇	四、四、二	三、一	四、七、三
	一、一、二	一、四、八三	一、二、九	三、一、七	三、三、六〇	四、四、七	五、三	五、〇、〇
別 區 ノ 一	一、一、五	一、四、三七	一、一、六	三、三、三	二、四、四五	三、九、〇	二、九	四、一、九
	一、一、〇	一、五、九〇	一、一、三	三、一、九	三、四、七〇	五、一、三	一、〇、一	六、一、四
別 區 ノ 二	一、一、六	一、四、四五	一、一、六	三、二、七	二、三、九〇	三、九、一	四、〇	四、三、一
	一、〇、二	一、六、四〇	一、一、七	三、一、四	三、三、九〇	四、一、一	九、三	五、一、三
	二、〇、九	一、五、三三	一、一、三	三、一、六	二、七、四〇	四、〇、六	六、六	四、七、二

備考 昭和十年ハ調査ヲ行ハズ



試驗區	年次	一株平均		枝條長	對徑	節間	本硬	發芽數		總芽數
		均條數	均條長					發芽數	不發芽數	
第一區	昭和十一年	一五、八	一、六七六	一、四九	一、四九	三、七九	二七、一〇	四、五、九	二、八	四八、七
	昭和十二年	一三、二	一、五七〇	一、五二	一、五二	三、〇一	三〇、三五	七、〇、一	六、五	七六、六
第二區	昭和十一年	一三、七	一、五〇〇	一、五〇	一、二九	二、九六	二四、一五	四、三、八	三、四	四七、二
	昭和十二年	一三、六	一、五七〇	一、四九	一、四九	三、一八	二八、七〇	六、三、四	八、七	七二、一
第三區	昭和十一年	一三、四	一、四九九	一、二九	一、二九	三、一六	二六、三〇	四、三、〇	五、六	四七、六
	昭和十二年	一三、四	一、二〇〇	一、三八	一、三八	三、〇一	三二、七〇	五、〇、八	九、〇	五九、八
第四區	昭和十一年	一〇、八	一、四四五	一、三九	一、三九	三、三二	二六、七〇	四、三、八	五、〇	五五、三
	昭和十二年	一一、二	一、六八〇	一、五二	一、五二	三、三二	二九、七五	四、八、〇	八、九	五六、九
第五區	昭和十一年	一一、〇	一、四九九	一、三〇	一、三〇	三、二七	二六、〇〇	四、三、八	五、〇	四八、八
	昭和十二年	一一、八	一、五六〇	一、三三	一、三三	三、〇九	二七、四五	四、四、八	九、二	五四、〇
第六區	昭和十一年	一一、二	一、五三〇	一、二八	一、二八	三、一八	二六、七三	四、四、三	七、一	五一、四
	昭和十二年	一一、二	一、四五一	一、一九	一、一九	三、〇八	二九、二五	四、二、七	三、六	四五、三

備考 昭和十年ハ調査ヲ行ハズ  
ハ、山腹(乾燥)地

試驗區	年次	一株平均		枝條長	對徑	節間	本硬	發芽數		總芽數
		均條數	均條長					發芽數	不發芽數	
第七區	昭和十一年	一一、六	一、二五六	一、二五	一、二五	三、〇四	二七、七〇	三、二、二	二、五	三三、七
	昭和十二年	一一、五	一、四七〇	一、一九	一、一九	三、〇〇	三三、一〇	四、〇、三	七、二	四七、五
別區ノ一	昭和十一年	九、一	一、五二二	一、一八	一、一八	三、三二	二五、一一	四、五、五	三、四	四八、九
	昭和十二年	一〇、〇	一、五九〇	一、三三	一、三三	二、九七	三〇、〇〇	四、〇、〇	八、一	四八、一
別區ノ二	昭和十一年	一〇、一	一、四四五	一、二二	一、二二	三、一五	三三、一五	三、八、七	三、三	四二、〇
	昭和十二年	一〇、二	一、四七〇	一、三三	一、三三	三、二六	二七、二五	二、七、六	一〇、四	三八、〇
第一區	昭和十一年	一三、七	一、二二八	一、〇八	一、〇八	二、八三	三〇、一三	三、三、九	二、八	三四、八
	昭和十二年	一五、四	〇、八四〇	〇、九二	〇、九二	二、七五	三五、三五	二、五、九	三、八	二九、七
第二區	昭和十一年	一一、七	一、〇八四	一、〇三	一、〇三	二、九〇	三四、四五	三、三、八	二、三	三五、一
	昭和十二年	一一、五	〇、九〇〇	〇、九六	〇、九六	二、四六	二八、八五	二、七、七	六、四	三四、一



別區ノ二	別區ノ一	第五區		第四區		第三區		平均
		平	昭	平	昭	平	昭	
均	均	均	均	均	均	均	均	均
昭和十一年	昭和十一年	昭和十一年	昭和十一年	昭和十一年	昭和十一年	昭和十一年	昭和十一年	昭和十一年
均	均	均	均	均	均	均	均	均
八、七	九、四	八、〇	一〇、八	二〇、〇	二〇、六	二二、三	二二、〇	二二、六
一、〇〇六	一、〇〇〇	一、〇五二	一、一五八	一、〇五〇	一、一六六	一、一七〇	一、一七〇	一、一七〇
一、〇三三	一、〇一〇	一、〇三三	一、〇八八	一、〇九六	一、一〇〇	一、一〇四	一、一〇四	一、一〇四
二、六九	二、七二	二、六五	二、九四	二、九九	二、八九	三、〇七	三、〇〇	三、〇三
三〇、三四	二九、二五	三〇、四三	二九、八八	三〇、一五	二九、六〇	三〇、〇〇	二九、九〇	三〇、〇〇
三、三四	三、三一	三、三七	三、三八	三、三七	三、五八	三、八五	三、八五	三、八五
四、五	六、七	二、二	四、〇	五、三	二、八	四、六	六、八	四、六
七、六、九	三、八、八	三、七、九	三、七、八	三、七、〇	三、八、六	四、三、五	四、五、三	四、三、五

備考 昭和十年ハ調査ヲ行ハズ

B 秋末ニ於ケル調査

イ、壤 土地

第五區	第四區	第三區	第二區	第一區	試驗區	年次		條數	株數	對一本	平均	經
						平	昭					
昭和十一年	昭和十一年	昭和十一年	昭和十一年	昭和十一年	昭和十一年	均	均	均	均	均	均	均
均	均	均	均	均	均	均	均	均	均	均	均	均
一四、〇	一三、七	一三、九	一三、二	一三、〇	一三、二	一四、六	一四、〇	一四、〇	一四、〇	一四、〇	一四、〇	一四、〇
欠調	欠調	欠調	欠調	欠調	欠調	欠調	欠調	欠調	欠調	欠調	欠調	欠調
一六、〇	一五、二	一八、三	一六、六	一七、八	一五、四	一六、〇	一五、二	一八、三	一六、六	一七、八	一五、四	一六、〇
一、九三五	一、七六五	一、八〇〇	一、八三三	一、八七〇	一、八三三	一、九三五	一、八〇四	一、八〇〇	一、八三三	一、八七〇	一、八三三	一、八〇四
一、三三	一、三三	一、三三	一、三三	一、三三	一、三三	一、三三	一、三三	一、三三	一、三三	一、三三	一、三三	一、三三







八、山腹(乾燥)地

試驗區	年次	條數		株數		枝條長(平均)	
		對數	株數	對數	株數	對數	株數
第一區	昭和十一年	一四〇	一四、四	一、三九七	一、〇〇	一、〇〇	〇、九四
	昭和十二年	一三八	一八、六	一、二〇〇	一、〇七	一、〇七	〇、九四
第二區	昭和十一年	一三、四	一、一〇	一、五四〇	一、〇一	一、〇一	〇、九四
	昭和十二年	一三、八	一、〇四	一、二〇六	一、〇一	一、〇一	〇、九四
第三區	昭和十一年	一三、六	一、四〇	一、三七三	一、〇五	一、〇五	〇、八五
	昭和十二年	一三、六	一、一六	一、一〇七	一、〇七	一、〇七	〇、八五
第四區	昭和十一年	一三、二	一、四二	一、五二六	一、〇四	一、〇四	〇、八五
	昭和十二年	一三、四	一、六〇	一、四八六	一、〇五	一、〇五	〇、八五

試驗區	年次	條數		株數		枝條長(平均)	
		對數	株數	對數	株數	對數	株數
第五區	昭和十一年	一、二六	一、五〇	一、八六二	一、三三	一、三三	一、〇〇
	昭和十二年	一、三〇	一、五八	一、八六二	一、三三	一、三三	一、〇〇
第六區	昭和十一年	一、五八	一、七八	一、六七六	一、一五	一、一五	一、〇〇
	昭和十二年	一、四四	一、〇六	一、八四九	一、二四	一、二四	一、〇〇
第七區	昭和十一年	一、三八	一、八六	一、五七七	一、二〇	一、二〇	一、〇〇
	昭和十二年	一、〇六	一、八六	一、八五四	一、二四	一、二四	一、〇〇
別區ノ一	昭和十一年	一、〇四	一、八八	一、六七一	一、二六	一、二六	一、〇〇
	昭和十二年	一、〇六	一、七六	一、八五九	一、二六	一、二六	一、〇〇
別區ノ二	昭和十一年	一、〇八	一、八二	一、七四八	一、二六	一、二六	一、〇〇
	昭和十二年	一、〇六	一、五六	一、八六二	一、二六	一、二六	一、〇〇



試驗區	八、山腹(乾燥)地							試驗區
	別區	別區	第一區	第二區	第三區	第四區	第五區	
株數	六〇	六〇	三〇	三〇	三〇	三〇	三〇	株數
昭和十年計	四一	六一	一〇	二〇	一〇	一〇	一〇	昭和十年計
昭和十一年計	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	昭和十一年計
昭和十二年計	〇	一	〇	〇	〇	〇	〇	昭和十二年計
株計	四三	八二	二二	六二	二〇	二〇	五五	株計
發生歩合	六、六七	五、〇〇	二六、六七	六、六七	六、六七	〇、〇〇	一六、六七	發生歩合

試驗區	口、砂礫地							試驗區
	別區	別區	第一區	第二區	第三區	第四區	第五區	
株數	四八	四八	二四	二四	二四	二四	二四	株數
昭和十年計	一四	〇	二	七	一			昭和十年計
昭和十一年計	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	昭和十一年計
昭和十二年計	〇	一	〇	〇	〇	〇	〇	昭和十二年計
株計	四三	六六	四六	四六	四六	四六	四五	株計
發生歩合	七、一四	二、九〇	一、五三	四、六七	六、一〇	五、〇〇	五〇、〇〇	發生歩合

試驗區	イ、壤土地			試驗區
	第一區	第二區	第三區	
株數	二四	二四	二四	株數
昭和十年計	一〇	〇	〇	昭和十年計
昭和十一年計	〇	〇	〇	昭和十一年計
昭和十二年計	〇	〇	〇	昭和十二年計
株計	三〇	二	二	株計
發生歩合	七、一四	一六、六七	四、二七	發生歩合

(三) 樹勢ニ關スル調査

別區	第一區		第二區	
	平	昭和十年均	平	昭和十年均
株數	二、〇八	一、〇八	二、〇八	一、〇八
昭和十年計	二、〇八	一、〇八	二、〇八	一、〇八
昭和十一年計	二、〇八	一、〇八	二、〇八	一、〇八
昭和十二年計	二、〇八	一、〇八	二、〇八	一、〇八
株計	二、〇八	一、〇八	二、〇八	一、〇八
發生歩合	一、〇四	〇、九八	一、〇四	〇、九八



第六區				第五區			第四區			第三區		
平	昭	平	昭	平	昭	平	昭	平	昭	平	昭	
均	和	均	和	均	和	均	和	均	和	均	和	
十二		十一		十二		十一		十二		十一		
年		年		年		年		年		年		
蠶豆			大根			大麥			小麥			
十月卅一日		九月八日		十月十九日		十一月八日		十月十九日		十一月八日		
三月三十日		十二月十五日		六月廿三日		六月廿五日		六月廿五日		六月廿五日		
		下上										

第二區		第一區	試驗區	年次	混作物ノ種類	播種月日	收穫月日	容	殼	對一區(〇、七アール)	容	殼	對一〇アール換算	
平	昭	第一區	年次	ノ種類	日	日	量	量	ノ	容	量	ノ	量	
均	和	第一區	年次	ノ種類	日	日	量	量	ノ	容	量	ノ	量	
十二		十一		十二		十一		十二		十一		十二		
年		年		年		年		年		年		年		

(一) 壤土地  
イ、秋、冬 作

B 混作物ノ收穫ニ關スル調査

別	別	第	第	第	第	第
區	區	五	四	三	二	一
ノ	ノ	區	區	區	區	區
二	一	區	區	區	區	區
〇	二	〇	〇	〇	〇	〇
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
〇	二	〇	〇	〇	〇	〇
三	一	〇	一	〇	〇	〇
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
三	一	〇	一	〇	〇	〇
一	一	〇	一	三	〇	一
〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇
一	一	〇	一	三	〇	一
四	四	〇	二	三	〇	一
七	七	〇	〇	〇	〇	〇
四	四	〇	〇	七	四	一
七	七	〇	〇	一	二	〇
四	四	〇	〇	三	〇	一
七	七	〇	〇	〇	〇	〇
四	四	〇	〇	七	四	一



第一區	試驗區	年次	混作物ノ種類	播種月日	收穫月日	對一區(〇、七アール)		對一〇アール換算						
						容量	重量	容量	重量					
隔畦拔株ヲ行ヒ混作物ヲ栽培セズ						從來ノ桑園ニテ間作ヲ行ハズ				昭和十年	九月	八月	十二月	十二月
										昭和十一年	九月	八月	十二月	十二月
口、春、夏、作						從來ノ桑園ニテ間作ヲ行ハズ				昭和十年	九月	八月	十二月	十二月
										昭和十一年	九月	八月	十二月	十二月
別一區						從來ノ桑園ニテ間作ヲ行ハズ				昭和十年	九月	八月	十二月	十二月
										昭和十一年	九月	八月	十二月	十二月
別二區						從來ノ桑園ニテ間作ヲ行ハズ				昭和十年	九月	八月	十二月	十二月
										昭和十一年	九月	八月	十二月	十二月
平均						從來ノ桑園ニテ間作ヲ行ハズ				昭和十年	九月	八月	十二月	十二月
										昭和十一年	九月	八月	十二月	十二月

第五區	第四區	第三區	第二區	平均	昭和十年	昭和十一年	昭和十二年	平均	昭和十年	昭和十一年	昭和十二年	平均	昭和十年	昭和十一年	昭和十二年	平均	昭和十年	昭和十一年	昭和十二年	
																				均
里芋	青刈大豆	陸稻	青刈大豆	陸稻	陸稻	陸稻	陸稻	陸稻	陸稻	陸稻	陸稻	陸稻	陸稻	陸稻	陸稻	陸稻	陸稻	陸稻	陸稻	陸稻
五月二十日	五月廿五日	五月二十日	五月廿五日	五月二十日	五月廿五日	五月二十日	五月廿五日	五月二十日	五月廿五日	五月二十日	五月廿五日	五月二十日	五月廿五日	五月二十日	五月廿五日	五月二十日	五月廿五日	五月二十日	五月廿五日	五月二十日
十一月五日	七月十四日	十一月八日	七月十四日	十一月八日	七月十四日	十一月八日	七月十四日	十一月八日	七月十四日	十一月八日	七月十四日	十一月八日	七月十四日	十一月八日	七月十四日	十一月八日	七月十四日	十一月八日	七月十四日	十一月八日
親芋	親芋	結實ニ至ラズ	親芋	結實ニ至ラズ	親芋	結實ニ至ラズ	親芋	結實ニ至ラズ	親芋	結實ニ至ラズ	親芋	結實ニ至ラズ	親芋	結實ニ至ラズ	親芋	結實ニ至ラズ	親芋	結實ニ至ラズ	親芋	結實ニ至ラズ
二八、一五〇	二〇、四七〇	二、九〇〇	九四、〇〇〇	一〇、一〇〇	一〇、一〇〇	一〇、一〇〇	一〇、一〇〇	一〇、一〇〇	一〇、一〇〇	一〇、一〇〇	一〇、一〇〇	一〇、一〇〇	一〇、一〇〇	一〇、一〇〇	一〇、一〇〇	一〇、一〇〇	一〇、一〇〇	一〇、一〇〇	一〇、一〇〇	一〇、一〇〇
二、八〇〇	一、八、九〇〇	一、八、九〇〇	一、八、九〇〇	一、八、九〇〇	一、八、九〇〇	一、八、九〇〇	一、八、九〇〇	一、八、九〇〇	一、八、九〇〇	一、八、九〇〇	一、八、九〇〇	一、八、九〇〇	一、八、九〇〇	一、八、九〇〇	一、八、九〇〇	一、八、九〇〇	一、八、九〇〇	一、八、九〇〇	一、八、九〇〇	一、八、九〇〇
親芋	親芋	結實ニ至ラズ	親芋	結實ニ至ラズ	親芋	結實ニ至ラズ	親芋	結實ニ至ラズ	親芋	結實ニ至ラズ	親芋	結實ニ至ラズ	親芋	結實ニ至ラズ	親芋	結實ニ至ラズ	親芋	結實ニ至ラズ	親芋	結實ニ至ラズ
四〇、一、二四三	二九、〇〇〇	二、九〇〇	一、四八二、八五七	一、四四、二九〇	一、四四、二九〇	一、四四、二九〇	一、四四、二九〇	一、四四、二九〇	一、四四、二九〇	一、四四、二九〇	一、四四、二九〇	一、四四、二九〇	一、四四、二九〇	一、四四、二九〇	一、四四、二九〇	一、四四、二九〇	一、四四、二九〇	一、四四、二九〇	一、四四、二九〇	一、四四、二九〇
一、三八一、四九元	一、四、二八六	一、四、二八六	一、四、二八六	一、四、二八六	一、四、二八六	一、四、二八六	一、四、二八六	一、四、二八六	一、四、二八六	一、四、二八六	一、四、二八六	一、四、二八六	一、四、二八六	一、四、二八六	一、四、二八六	一、四、二八六	一、四、二八六	一、四、二八六	一、四、二八六	一、四、二八六



(二) 砂礫地

イ、秋、冬作

試験區	第一區	第二區	第三區	第四區	對一區(〇、七アール)		對一〇アール換算	
					容量-重量	實量	容量-重量	實量
年次	昭和十年 昭和十一年 昭和十二年 平均	昭和十年 昭和十一年 昭和十二年 平均	昭和十年 昭和十一年 昭和十二年 平均	昭和十年 昭和十一年 昭和十二年 平均	昭和十年 昭和十一年 昭和十二年 平均	昭和十年 昭和十一年 昭和十二年 平均	昭和十年 昭和十一年 昭和十二年 平均	昭和十年 昭和十一年 昭和十二年 平均
混作物ノ種類	青刈大豆	青刈大豆	青刈大豆	麥	麥	麥	麥	麥
播種月日	五月廿五日 五月十四日 五月廿七日 八月二日	五月廿五日 五月十四日 五月廿七日 八月二日	五月廿五日 五月十四日 五月廿七日 八月二日	十月九日 十月七日 十月六日 十月六日	十月九日 十月七日 十月六日 十月六日	十月九日 十月七日 十月六日 十月六日	十月九日 十月七日 十月六日 十月六日	十月九日 十月七日 十月六日 十月六日
收穫月日	七月廿二日 七月廿一日 七月廿一日 九月十五日	七月廿二日 七月廿一日 七月廿一日 九月十五日	七月廿二日 七月廿一日 七月廿一日 九月十五日	五月廿三日 五月十日 五月三日 五月三日	五月廿三日 五月十日 五月三日 五月三日	五月廿三日 五月十日 五月三日 五月三日	五月廿三日 五月十日 五月三日 五月三日	五月廿三日 五月十日 五月三日 五月三日
對一區(〇、七アール)				一六、七五 一四、三三 一三、三三 一六、八〇	一〇、一七 一一、〇〇 一一、〇〇 一一、〇〇	一八、四八 一〇、一〇〇 一〇、一〇〇 一〇、一〇〇	一四、一〇〇 一六、三三 一六、三三 一六、三三	三三、八〇 三三、一〇〇 三三、一〇〇 三三、一〇〇
對一〇アール換算				二二、七二 二〇、〇〇 二〇、〇〇 二二、七二	一四、七二 一四、七二 一四、七二 一四、七二	二四、四〇 二四、四〇 二四、四〇 二四、四〇	二二、七二 二二、七二 二二、七二 二二、七二	二二、七二 二二、七二 二二、七二 二二、七二

別區	第一區	第七區	第六區	對一區(〇、七アール)		對一〇アール換算	
				容量-重量	實量	容量-重量	實量
年次	昭和十年 昭和十一年 昭和十二年 平均	昭和十年 昭和十一年 昭和十二年 平均	昭和十年 昭和十一年 昭和十二年 平均	昭和十年 昭和十一年 昭和十二年 平均	昭和十年 昭和十一年 昭和十二年 平均	昭和十年 昭和十一年 昭和十二年 平均	昭和十年 昭和十一年 昭和十二年 平均
混作物ノ種類	青刈大豆	青刈大豆	青刈大豆	馬鈴薯	馬鈴薯	馬鈴薯	馬鈴薯
播種月日	五月廿五日 五月十四日 五月廿七日 八月二日	五月廿五日 五月十四日 五月廿七日 八月二日	五月廿五日 五月十四日 五月廿七日 八月二日	三月十日 三月十日 三月十日 三月十日	三月十日 三月十日 三月十日 三月十日	三月十日 三月十日 三月十日 三月十日	三月十日 三月十日 三月十日 三月十日
收穫月日	七月廿二日 七月廿一日 七月廿一日 九月十五日	七月廿二日 七月廿一日 七月廿一日 九月十五日	七月廿二日 七月廿一日 七月廿一日 九月十五日	七月六日 七月十四日 七月十四日 七月十四日	七月六日 七月十四日 七月十四日 七月十四日	七月六日 七月十四日 七月十四日 七月十四日	七月六日 七月十四日 七月十四日 七月十四日
對一區(〇、七アール)				七、〇〇〇 七、〇〇〇 七、〇〇〇 七、〇〇〇	七、〇〇〇 七、〇〇〇 七、〇〇〇 七、〇〇〇	七、〇〇〇 七、〇〇〇 七、〇〇〇 七、〇〇〇	七、〇〇〇 七、〇〇〇 七、〇〇〇 七、〇〇〇
對一〇アール換算				一〇、〇〇〇 一〇、〇〇〇 一〇、〇〇〇 一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇 一〇、〇〇〇 一〇、〇〇〇 一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇 一〇、〇〇〇 一〇、〇〇〇 一〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇 一〇、〇〇〇 一〇、〇〇〇 一〇、〇〇〇



第五區		第六區		第七區	
昭和十年	昭和十一年	昭和十年	昭和十一年	昭和十年	昭和十一年
大	大	大根	大根	大根	大根
十月十八日	十一月八日	九月八日	九月九日	九月八日	九月九日
六月十五日	六月二十日	十二月十三日	十二月十四日	十二月十三日	十二月十四日
一七、八〇〇	二〇、七〇〇	一七、九〇〇	一七、七〇〇	一七、九〇〇	一七、七〇〇
二〇、八〇〇	二二、五〇〇	七、三〇〇	七、三〇〇	六、八八五	六、八八五
一六、八五〇	七、三〇〇	二四、七〇〇	二四、七〇〇	一九、九八〇	一九、九八〇
二五、二九〇	二九、五七二	二、五五七	二、五五七	一、九二九	一、九二九
二九、一四三	二七、八五二	一、〇三三	一、〇三三	八六九、七八六	八六九、七八六
二四〇、七二四	一〇四、二八六	二、四四三	二、四四三	四四三、八五八	四四三、八五八
二四、二八六	二四、二八六	一八、四九九	一八、四九九	一六五、七四	一六五、七四
一六二、一四三	一六二、一四三	七九九、四二九	七九九、四二九	六五、三三	六五、三三
二八八、二八六	二八八、二八六	一四四、二八六	一四四、二八六	五、二四三	五、二四三
三三〇、〇〇〇	三三〇、〇〇〇	三九九、一四三	三九九、一四三	欠調	欠調
一四四、二八六	一四四、二八六	四〇五、七八六	四〇五、七八六	九二、〇〇〇	九二、〇〇〇
一八三、三五八	一八三、三五八	一五七、七八六	一五七、七八六	二、三三、五七二	二、三三、五七二

別一區	別二區
昭和十年	昭和十年
十一月	十一月
イットウ	イットウ
十月七日	十月七日
五月十日	五月十日
五月十三日	五月十三日
五月廿三日	五月廿三日
五月廿五日	五月廿五日
七月廿二日	七月廿二日
七月廿三日	七月廿三日
七月廿四日	七月廿四日
七月廿五日	七月廿五日
七月廿六日	七月廿六日
七月廿七日	七月廿七日
七月廿八日	七月廿八日
七月廿九日	七月廿九日
七月三十日	七月三十日
八月一日	八月一日
八月二日	八月二日
八月三日	八月三日
八月四日	八月四日
八月五日	八月五日
八月六日	八月六日
八月七日	八月七日
八月八日	八月八日
八月九日	八月九日
八月十日	八月十日
八月十一日	八月十一日
八月十二日	八月十二日
八月十三日	八月十三日
八月十四日	八月十四日
八月十五日	八月十五日
八月十六日	八月十六日
八月十七日	八月十七日
八月十八日	八月十八日
八月十九日	八月十九日
八月二十日	八月二十日
八月二十一日	八月二十一日
八月二十二日	八月二十二日
八月二十三日	八月二十三日
八月二十四日	八月二十四日
八月二十五日	八月二十五日
八月二十六日	八月二十六日
八月二十七日	八月二十七日
八月二十八日	八月二十八日
八月二十九日	八月二十九日
八月三十日	八月三十日
八月三十一日	八月三十一日
九月一日	九月一日
九月二日	九月二日
九月三日	九月三日
九月四日	九月四日
九月五日	九月五日
九月六日	九月六日
九月七日	九月七日
九月八日	九月八日
九月九日	九月九日
九月十日	九月十日
九月十一日	九月十一日
九月十二日	九月十二日
九月十三日	九月十三日
九月十四日	九月十四日
九月十五日	九月十五日
九月十六日	九月十六日
九月十七日	九月十七日
九月十八日	九月十八日
九月十九日	九月十九日
九月二十日	九月二十日
九月二十一日	九月二十一日
九月二十二日	九月二十二日
九月二十三日	九月二十三日
九月二十四日	九月二十四日
九月二十五日	九月二十五日
九月二十日	九月二十日
九月二十一日	九月二十一日
九月二十二日	九月二十二日
九月二十三日	九月二十三日
九月二十四日	九月二十四日
九月二十五日	九月二十五日
九月二十六日	九月二十六日
九月二十七日	九月二十七日
九月二十八日	九月二十八日
九月二十九日	九月二十九日
九月三十日	九月三十日
九月三十一日	九月三十一日
十月一日	十月一日
十月二日	十月二日
十月三日	十月三日
十月四日	十月四日
十月五日	十月五日
十月六日	十月六日
十月七日	十月七日
十月八日	十月八日
十月九日	十月九日
十月十日	十月十日
十月十一日	十月十一日
十月十二日	十月十二日
十月十三日	十月十三日
十月十四日	十月十四日
十月十五日	十月十五日
十月十六日	十月十六日
十月十七日	十月十七日
十月十八日	十月十八日
十月十九日	十月十九日
十月二十日	十月二十日
十月二十一日	十月二十一日
十月二十二日	十月二十二日
十月二十三日	十月二十三日
十月二十四日	十月二十四日
十月二十五日	十月二十五日
十月二十六日	十月二十六日
十月二十七日	十月二十七日
十月二十八日	十月二十八日
十月二十九日	十月二十九日
十月三十日	十月三十日
十月三十一日	十月三十一日
十一月一日	十一月一日
十一月二日	十一月二日
十一月三日	十一月三日
十一月四日	十一月四日
十一月五日	十一月五日
十一月六日	十一月六日
十一月七日	十一月七日
十一月八日	十一月八日
十一月九日	十一月九日
十一月十日	十一月十日
十一月十一日	十一月十一日
十一月十二日	十一月十二日
十一月十三日	十一月十三日
十一月十四日	十一月十四日
十一月十五日	十一月十五日
十一月十六日	十一月十六日
十一月十七日	十一月十七日
十一月十八日	十一月十八日
十一月十九日	十一月十九日
十一月二十日	十一月二十日
十一月二十一日	十一月二十一日
十一月二十二日	十一月二十二日
十一月二十三日	十一月二十三日
十一月二十四日	十一月二十四日
十一月二十五日	十一月二十五日
十一月二十六日	十一月二十六日
十一月二十七日	十一月二十七日
十一月二十八日	十一月二十八日
十一月二十九日	十一月二十九日
十一月三十日	十一月三十日
十一月三十一日	十一月三十一日
十二月一日	十二月一日
十二月二日	十二月二日
十二月三日	十二月三日
十二月四日	十二月四日
十二月五日	十二月五日
十二月六日	十二月六日
十二月七日	十二月七日
十二月八日	十二月八日
十二月九日	十二月九日
十二月十日	十二月十日
十二月十一日	十二月十一日
十二月十二日	十二月十二日
十二月十三日	十二月十三日
十二月十四日	十二月十四日
十二月十五日	十二月十五日
十二月十六日	十二月十六日
十二月十七日	十二月十七日
十二月十八日	十二月十八日
十二月十九日	十二月十九日
十二月二十日	十二月二十日
十二月二十一日	十二月二十一日
十二月二十二日	十二月二十二日
十二月二十三日	十二月二十三日
十二月二十四日	十二月二十四日
十二月二十五日	十二月二十五日
十二月二十六日	十二月二十六日
十二月二十七日	十二月二十七日
十二月二十八日	十二月二十八日
十二月二十九日	十二月二十九日
十二月三十日	十二月三十日
十二月三十一日	十二月三十一日

口、春、夏、作

從來ノ桑園ニテ間作ヲ行ハズ

試驗區	第一區	第二區	第三區
年次	昭和十年	昭和十一年	昭和十二年
混作物ノ種類	青刈大豆	青刈大豆	稻
播種月日	五月廿五日	五月十四日	五月二十日
收穫月日	七月廿二日	七月廿一日	十一月八日
對一區(〇、七アル)	一八、〇〇〇	四八、二〇〇	二、〇八〇
對一〇アル換算	二七、一四三	六八、七二九	二九、七四



第四區		第五區		第六區	
昭和十年	昭和十一年	昭和十年	昭和十一年	昭和十年	昭和十一年
五月廿五日	八月三日	五月十四日	五月廿八日	三月九日	四月二日
七月廿一日	八月十五日	五月二十日	五月十四日	三月十日	四月二日
輕微ノ旱害ニ依リ枯死	八月廿四日	十一月五日	旱害ノタメ收穫不能	七月七日	七月十五日
親芋	子芋	親芋	子芋	上	下
二,六〇〇	六,八〇〇	四,二〇〇	四,四〇〇	五,一五〇	三,八〇〇
三,〇〇〇	二,九〇〇	八,〇〇七	四,四〇七	二,〇〇〇	二,〇〇〇
二〇,八六七	二〇,八六七	二四,二〇〇	二四,二〇〇	二〇,七〇〇	二〇,六〇〇
親芋	子芋	親芋	子芋	上	下
八,〇〇〇	九,〇〇〇	六,〇〇〇	六,〇〇〇	七,七三二	五,四一七
二五,二三八	二五,二三八	六三,八二〇	六三,八二〇	二八,四三九	二八,四三九
二五,二三八	二五,二三八	二五,二三八	二五,二三八	二五,二三八	二五,二三八

(三) 露地栽培 (壤土地)

イ、秋、冬 作

第七區		第一區	
昭和十年	昭和十一年	昭和十年	昭和十一年
五月廿五日	八月三日	五月廿五日	五月廿五日
枯死セリ	九月十五日	五月廿五日	五月廿五日
青刈大豆	青刈大豆	青刈大豆	青刈大豆
二,四一九	三,九七二	二,四一九	三,九七二
二七,一五〇	二七,一五〇	二七,一五〇	二七,一五〇
九,七三三	九,七三三	九,七三三	九,七三三
二二,四一九	二二,四一九	二二,四一九	二二,四一九
三九,七二四	三九,七二四	三九,七二四	三九,七二四
一三,〇四八	一三,〇四八	一三,〇四八	一三,〇四八

從來ノ桑園ニテ間作ヲ行ハズ

第一區	第二區
昭和十年	昭和十年
十一月	十一月
イツケン	イツケン
十月十日	十月十日
五月廿三日	五月廿三日
二九,五〇〇	二九,五〇〇
九,八七五	九,八七五
一〇三,一〇〇	一〇三,一〇〇
一〇八,一四二	一〇八,一四二
六,四七五	六,四七五
四,五二七	四,五二七
五,一五五	五,一五五
五,〇七五	五,〇七五



第六區		第五區		第四區		第三區	
昭和十年	昭和十一年	昭和十年	昭和十一年	昭和十年	昭和十一年	昭和十年	昭和十一年
大根	大根	大	小	小	小	小	小
九月八日	九月八日	十月十九日	十一月八日	十一月八日	十一月八日	十一月八日	十一月八日
十二月十二日	十二月十五日	六月十五日	六月廿五日	六月廿五日	六月廿五日	六月廿五日	六月廿五日
缺調	缺調						
五、七〇	五、七〇	一、八〇	一、七〇	一、二〇	一、一〇	一、一〇	一、一〇
七〇、〇〇〇	六九、八〇〇	一〇、一〇〇	九、五〇〇	九、五〇〇	九、五〇〇	九、五〇〇	九、五〇〇
二、三、五〇〇	二、三、五〇〇	二、一〇、九〇〇	二、一〇、九〇〇	二、一〇、九〇〇	二、一〇、九〇〇	二、一〇、九〇〇	二、一〇、九〇〇
二、九〇〇	三、一五〇	四、四〇〇	四、四〇〇	四、四〇〇	四、四〇〇	四、四〇〇	四、四〇〇
三、五〇〇	三、五〇〇	五、五〇〇	五、五〇〇	五、五〇〇	五、五〇〇	五、五〇〇	五、五〇〇
一、一七五	一、一七五	一、一〇〇	一、一〇〇	一、一〇〇	一、一〇〇	一、一〇〇	一、一〇〇

第七區		第一區	
昭和十年	昭和十一年	昭和十年	昭和十一年
大根	大根	青刈大豆	青刈大豆
九月八日	九月八日	五月廿五日	五月廿五日
十二月十五日	十二月十五日	七月廿三日	七月廿三日
缺調	缺調		
五、七〇	五、七〇		
七〇、〇〇〇	七〇、〇〇〇		
二、三、五〇〇	二、三、五〇〇		
二、九〇〇	三、一五〇		
三、五〇〇	三、五〇〇		
一、一七五	一、一七五		



第六區 平均	第五區		第四區		第三區	
	昭和十年	昭和十一年	昭和十年	昭和十一年	昭和十年	昭和十一年
平均	平均	平均	平均	平均	平均	平均
馬鈴薯	里芋	里芋	青刈大豆	青刈大豆	陸稻	陸稻
三月九日	五月十四日	五月十四日	五月廿五日	五月廿五日	五月二十日	五月二十日
四月二日	五月十四日	五月十四日	八月十七日	八月十七日	五月二十日	五月二十日
七月七日	十一月十日	十一月十日	九月十五日	九月十五日	旱害ノタメ枯死	旱害ノタメ枯死
七月七日	十一月十日	十一月十日	八月廿三日	八月廿三日	結實ニ至ラズ	結實ニ至ラズ
子親芋	子親芋	子親芋	子親芋	子親芋	子親芋	子親芋
上	上	上	上	上	上	上
下	下	下	下	下	下	下
四、〇六七	二、九〇〇	二、九〇〇	一、八、三六七	一、八、三六七	二、五〇〇	二、五〇〇
二、三、三、五〇〇	一、四、八、三三三	一、四、八、三三三	一、五〇〇、〇〇〇	一、五〇〇、〇〇〇	四、八、五〇〇	四、八、五〇〇
一、四、七、五〇〇	一、四、八、三三三	一、四、八、三三三	九、八、三三三	九、八、三三三	二、五〇〇	二、五〇〇

(四) 山腹(乾燥)地

イ、秋、冬 作

第七區 平均	第七區	
	昭和十年	昭和十一年
平均	平均	平均
青刈大豆	青刈大豆	青刈大豆
八月十七日	八月十七日	八月十七日
九月十五日	九月十五日	九月十五日
八月廿三日	八月廿三日	八月廿三日
子親芋	子親芋	子親芋
上	上	上
下	下	下
三、五、五〇〇	三、五、五〇〇	三、五、五〇〇
一、八、五、〇〇〇	一、八、五、〇〇〇	一、八、五、〇〇〇
一、三、〇、〇〇〇	一、三、〇、〇〇〇	一、三、〇、〇〇〇
一、四、八、三三三	一、四、八、三三三	一、四、八、三三三

第一區	第一區	
	昭和十年	昭和十一年
平均	平均	平均
隔畦拔株ヲ行ヒ混作物ヲ栽培セズ	隔畦拔株ヲ行ヒ混作物ヲ栽培セズ	隔畦拔株ヲ行ヒ混作物ヲ栽培セズ
八月廿五日	八月廿五日	八月廿五日
七月廿二日	七月廿二日	七月廿二日
八月廿三日	八月廿三日	八月廿三日
子親芋	子親芋	子親芋
上	上	上
下	下	下
一、三、〇、〇〇〇	一、三、〇、〇〇〇	一、三、〇、〇〇〇
一、三、〇、〇〇〇	一、三、〇、〇〇〇	一、三、〇、〇〇〇
二、二、五、〇〇〇	二、二、五、〇〇〇	二、二、五、〇〇〇



別區	昭 和 十 年	十 一 年	平 均	混作物	播種月日	收穫月日	對一區(〇、六アール)		對一〇アール換算			
							穀 量	實 量	穀 量	實 量		
第三區	昭和十年	十一年	平均	小	十月十九日	六月十六日	二六〇	一九七〇	二九、五五〇	四三三	三九、一六七	
	昭和十年	十一年	平均	小	十一月九日	六月廿二日	二五八	一六、九五〇	二三、〇五〇	四三〇	二八、五〇〇	
	昭和十年	十一年	平均	小	十一月十四日	六月廿二日	一九七	一四、八〇〇	一九、四〇〇	三三八	二四、六六七	
第四區	昭和十年	十一年	平均	小	十月十九日	六月十六日	二七、二	二〇、六〇〇	三、八五〇	四三三	三三、三三三	
	昭和十年	十一年	平均	小	十一月九日	六月廿二日	三三、七	二四、一五〇	二五、三〇〇	三七八	三三、八三三	
	昭和十年	十一年	平均	小	十一月十四日	六月廿二日	二七、二	二二、七五〇	一七、九〇〇	二八六	二二、五〇〇	
第五區	昭和十年	十一年	平均	大	十月十九日	六月十六日	二七、五	一九、九〇〇	一四、四五〇	二九、六七	三三、一六七	
	昭和十年	十一年	平均	大	十一月九日	六月廿二日	二七、三	一六、六五〇	一一、七〇〇	四五五	二七、五〇〇	
	昭和十年	十一年	平均	大	十一月十四日	六月廿二日	一八、二	二二、六〇〇	二二、一五〇	三〇三	二〇、〇〇〇	
別區	昭和十年	十一年	平均	イ ツ ケ ン	十月七日	五月四日	—	—	—	—	—	—
別區	昭和十年	十一年	平均	ザ ー ト ウ	十月九日	五月八日	—	—	—	—	—	—

口、春、夏、作

從來ノ桑園ニテ間作ヲ行ハズ

欠調

試驗區	年次	混作物	播種月日	收穫月日	對一區(〇、六アール)		對一〇アール換算	
					穀 量	實 量	穀 量	實 量
第一區	昭和十年	青刈大豆	五月廿六日	七月廿九日	—	—	—	—
	昭和十年	青刈大豆	七月三十日	枯死(旱害ニ依ル)	—	—	—	—
	昭和十年	青刈大豆	五月十七日	七月廿二日	—	—	—	—
	昭和十年	青刈大豆	五月十五日	七月廿五日	—	—	—	—
	昭和十年	青刈大豆	八月十五日	十月廿八日	—	—	—	—
	昭和十年	青刈大豆	八月十五日	十月廿八日	—	—	—	—
第二區	昭和十年	稻	五月廿一日	十一月七日	四、一〇	一、五三〇	一六、五五	七〇、〇〇
	昭和十年	稻	五月廿一日	旱害ノタメ枯死セリ	—	—	—	—
	昭和十年	稻	五月廿二日	旱害ノタメ枯死セリ	—	—	—	—
	昭和十年	稻	五月廿二日	旱害ノタメ枯死セリ	—	—	—	—
	昭和十年	稻	五月廿二日	旱害ノタメ枯死セリ	—	—	—	—
	昭和十年	稻	五月廿二日	旱害ノタメ枯死セリ	—	—	—	—
第三區	昭和十年	稻	七月十八日	十一月七日	六、七〇	四、二五	一八、四七〇	一一、六七
	昭和十年	稻	七月十八日	十一月七日	四、五四	二、八九	一四、二八〇	七、五、六七
	昭和十年	稻	七月十八日	十一月七日	二、九五	一、七七	一四、二八〇	七、五、六七
	昭和十年	稻	七月十八日	十一月七日	四、七三	二、九五	一四、二八〇	七、五、六七
	昭和十年	稻	七月十八日	十一月七日	二、九五	一、七七	一四、二八〇	七、五、六七
	昭和十年	稻	七月十八日	十一月七日	四、七三	二、九五	一四、二八〇	七、五、六七
第四區	昭和十年	稻	七月十八日	十一月七日	六、七〇	四、二五	一八、四七〇	一一、六七
	昭和十年	稻	七月十八日	十一月七日	四、五四	二、八九	一四、二八〇	七、五、六七
	昭和十年	稻	七月十八日	十一月七日	二、九五	一、七七	一四、二八〇	七、五、六七
	昭和十年	稻	七月十八日	十一月七日	四、七三	二、九五	一四、二八〇	七、五、六七
	昭和十年	稻	七月十八日	十一月七日	二、九五	一、七七	一四、二八〇	七、五、六七
	昭和十年	稻	七月十八日	十一月七日	四、七三	二、九五	一四、二八〇	七、五、六七

隔畦拔株ヲ行ヒ混作物ヲ栽培セズ



(五) 露地栽培 (山腹乾燥地)  
イ、秋、冬 作

試験區	年次	混作物ノ種類	播種月日	收穫月日	對一區(〇、二アール)		對一〇アール換算	
					容量	重量	容量	重量
第一區	昭和十年	混作物ナシ						
第二區	昭和十年	ザイトウ	十月九日	五月五日	六、二五〇	一四、七〇〇	六〇、〇〇〇	三、三三〇
第二區	昭和十年	イツケン	十月七日	五月四日	六、九〇〇	一四、七〇〇	六〇、〇〇〇	三、四七〇
平均					六、一〇三	一四、七〇〇	六〇、〇〇〇	三、三〇三
第五區	昭和十年	青刈大豆	五月廿六日	七月廿九日	九、七五〇	一八、七五〇	三〇、〇〇〇	三、二七五
第五區	昭和十年	青刈大豆	五月十七日	七月廿二日	三、〇七〇	一四、七〇〇	六〇、〇〇〇	三、〇〇〇
第五區	昭和十年	青刈大豆	五月十五日	七月廿五日	四、〇〇〇	一四、七〇〇	六〇、〇〇〇	三、〇〇〇
第五區	昭和十年	青刈大豆	八月十五日	十月廿八日	一、〇〇〇	一四、七〇〇	六〇、〇〇〇	一、六六七
平均					二、一五〇	一四、七〇〇	六〇、〇〇〇	四、一八四

試験區	年次	混作物ノ種類	播種月日	收穫月日	對一區(〇、二アール)		對一〇アール換算	
					容量	重量	容量	重量
第一區	昭和十年	混作物ナシ						
第三區	昭和十年	小	十月十九日	六月十六日	二、四〇〇	一〇、〇〇〇	六〇、〇〇〇	七、五〇〇
第三區	昭和十年	小	十一月九日	六月廿二日	九、八〇〇	一〇、〇〇〇	六〇、〇〇〇	三、八五〇
第三區	昭和十年	小	十一月十四日	六月廿二日	八、四八〇	一〇、〇〇〇	六〇、〇〇〇	三、五〇〇
平均					一〇、三三〇	一〇、〇〇〇	六〇、〇〇〇	五、八三三
第四區	昭和十年	小	十月十九日	六月十六日	一、四〇〇	九、二〇〇	五七、〇〇〇	六、五〇〇
第四區	昭和十年	小	十一月九日	六月廿二日	一〇、三〇〇	八、二五〇	五五、〇〇〇	六、三〇〇
第四區	昭和十年	小	十一月十四日	六月廿二日	八、一〇〇	六、二五〇	四九、〇〇〇	三、八七五
平均					九、六〇〇	七、八六七	四九、六六七	五、八三三
第五區	昭和十年	大	十月十九日	六月十六日	一、三、五〇〇	七、七〇〇	六、六〇〇	三、〇〇〇
第五區	昭和十年	大	十一月九日	六月廿二日	一〇、五〇〇	七、六五〇	八、九五〇	四、七五〇
第五區	昭和十年	大	十一月十四日	六月廿二日	六、八〇〇	四、七五〇	四、〇〇〇	二、〇〇〇
平均					一〇、二七〇	六、七〇〇	五、三三三	三、五八三

試験區	年次	混作物ノ種類	播種月日	收穫月日	對一區(〇、二アール)		對一〇アール換算	
					容量	重量	容量	重量
第一區	昭和十年	混作物ナシ						
第二區	昭和十年	青刈大豆	五月廿一日	七月廿九日	一、一〇〇	一三、二五〇	六〇、〇〇〇	六、六二五
第二區	昭和十年	青刈大豆	五月十七日	七月廿二日	一、八〇〇	一三、二五〇	六〇、〇〇〇	九、三〇〇
第二區	昭和十年	青刈大豆	五月十五日	七月廿五日	一、七〇〇	一三、二五〇	六〇、〇〇〇	八、六五〇
平均					一、六三七	一三、二五〇	六〇、〇〇〇	八、六七五



第五區	第四區	第三區	
		昭和十年 平均	昭和十一年 平均
青刈大豆	黍	陸	稻
昭和十年 五月廿八日 七月廿九日	昭和十年 七月十八日 十月廿八日	昭和十年 五月廿一日 十月廿八日	昭和十一年 五月廿一日 十一月七日
七月五日 十月廿八日	七月十八日 十月廿八日	五月廿二日 十月廿八日	五月廿一日 十一月七日
		結實ニ至ラズ	早害ノタメ枯死セリ
	五、八八 六、二五 三、五八	一、二七 〇、四〇	三、五〇 一、二六
	三、五〇八 一、六六四 二九三、八三	八、五〇三 五八、三	二、三六〇 一、七五〇
	二、八二三 一三、五〇〇 七、八〇〇		二、九〇〇 一、七五〇
	八、〇三八		六、三〇〇
			六八〇、五〇〇
	一、四〇、六五〇 六、七五、〇〇〇 三、九〇、〇〇〇	三、〇〇〇 四五、一六七	四、五五、〇〇〇 四、五五、〇〇〇
	八、四二、三〇〇 七、九四、〇〇〇 一、二七四、七五〇		

### 三、試験成績ノ概要

#### 1、成績ノ概括

##### A 桑樹ニ關スル調査

#### (一) 收穫量ニ就テ

イ、壤土 地

壤土地ニ於テ隔畦拔株ヲ行ヒ混作物ヲ栽培セル場合從來ノ桑園ニ比シ、桑葉收穫量ハ隔畦拔株ヲナシ無混作(第一區)ノ場合ハ三〇%ノ減收ニシテ、混作物各區ハ三二、三一、四四、八%ノ減收ナリ

混作物ノ種類ニ依ル影響ハ一定ノ傾向認め難キモ第六、第七ノ兩區減收甚ク、則チ馬鈴薯、大根ハ不良ナル影響ヲ與フルモノ、如シ

ロ、砂礫地

砂礫地ニ於テハ隔畦拔株ヲ行ヒタル場合、無混作(第一區)ノ場合ハ從來ノ桑園(別區ノ一)ニ比シ五%ノ增收ニテ桑樹半減セルモ收穫量増加ヲ觀、綠肥作物ノミヲ混作物セル第二區ハ僅カニ一七、四%ノ減收ニ過ギズ、他ノ混作物(第三―第七區)ニ於テハ三八、五一、一八、七%ノ減收ニシテ壤土地ト異ナリ隔畦拔株ヲ行ヒ混作物セル場合ト雖、桑葉ノ減收著シカラズ、混作物ノ種類ニ依ル影響ニ就キテハ一定ノ傾向認め難シ

ハ、山腹(乾燥)地

山腹(乾燥)地ニ於テハ、隔畦拔株ニ行ヒ混作物セル場合ハ從來ノ桑園ニ比シ著シク減收ヲ來シ、五九、一一、三三、七%ノ減收ヲ示シ、山腹(乾燥)地ハ、表土淺ク、稍瘠地ナルタメ隔畦拔株ニヨル桑樹ノ半減ハ收穫量ニ甚大ナル影響ヲ及ボセルモノト思惟セラル、混作物ノ種類ニ依ル影響ニ就キテハ前記ノ各地ト同様ナリ

#### (二) 枝條ノ伸長其ノ他

各地共ニ一定ノ傾向認め難キモ、隔畦拔株ヲ行ヘル區ハ從來ノ桑園(別區ノ一)ニ比シ生育伸長等稍良好ナルモノノ差顯著ナラズ

#### (三) 樹勢ニ就テ

イ、壤土 地

樹勢、即チ萎縮病ノ發生ニ關シテハ長期間ニ亘ル作物ヲ混作物セル區ハ稍多キ傾向ヲ示シ、特ニ小麥、大麥、里芋、馬鈴薯ヲ混作物セル各區ニ萎縮病ノ發生多シ

ロ、砂礫地



砂礫地ニ於テハ壤土地ニ比シ萎縮病ノ發生著シク少ク、各區間一定ノ傾向ナシ  
ハ、山腹(乾燥)地  
砂礫地ト同様ニシテ萎縮病ノ發生一般ニ少ク各區間一定ノ傾向ナシ

B 混作物ニ關スル調査

(一) 壤土地

イ、秋、冬 作

混作物ノ收穫量ニ就イテハ、秋、冬作ハ一般ニ生育良好ニシテ、イヅレモ收穫多シ、即チ綠肥ニアリテハ、從來ノ桑園(別區ノ二)ニ間作セル場合ハ一、六一二疋余ナルニ反シ、隔畦拔株セル區(第二區)ニテハ三、六五〇疋余ニシテ收穫著シク多シ

食用作物、即チ小麥ハ二二五―二三二疋ノ收穫量ニシテ容量ハ一、七一―一、八石ノ收穫量ニシテ、小麥ノミヲ栽培(露地栽培)ニ比シ混作セル場合ノ收穫量ハ約半量タリ

大麥ニアリテハ小麥ト略同量ノ收穫ヲ得タリ

大根ハ桑園ノ混作ニ於テモ對一〇アール二〇〇〇本内外ヲ得ラレ、露地栽培ノ場合ノ七割ナリ、且大根ノ收穫後蠶豆又ハ蕒若ノ栽培ヲ行フ時ハ蠶豆ハ稍收穫少キモ蕒若ハ一石一斗余ノ收穫ヲ得ラル

ロ、春、夏 作

春、夏作ハ冬期間ノ混作物ノ種類及播種ノ時期ニ依リ收穫量ニ著シク差アリテ、綠肥作物、青刈大豆ヲ混作セル場合、冬期綠肥(ザイトウイツケン)ヲ栽培セル場合(第二區)ハ收穫極メテ多ク一、五〇〇疋余ニ達シ、從來ノ桑園(別區ノ二)ニ間作セルモノニ比シ約倍量ナリ、然レ共大麥、馬鈴薯、蕒若ノ混作物ニ栽培セル場合ハ收穫量著シク少ク五〇〇―六〇〇疋ニ過ギズ

食用作物トシテノ陸稻ハ桑園混作物トシテハ生育不良ニシテ早害ソノ他ニ依リ枯死又ハ結實ニ至ラズ  
馬鈴薯ハ收穫最モ多ク有望ニシテ、里芋ハ早魃ニ遭遇スル場合ハ收穫ヲ得ラズ栽培上注意ヲ要ス

(二) 砂礫地

イ、秋、冬 作

砂礫地ニ於ケル冬期間ノ混作物ニ就テハ壤土地ト全ク同一ノ傾向ニシテ何レモ成績良好ナレドモ壤土地ニ比シ收穫量稍少シ

ロ、春、夏 作

夏期ニ於ケル混作物ニ就テハ壤土地ト略同一ノ傾向ヲ示セルモ砂礫地ナルタメ早害ヲ蒙ル場合屢々アリテ收穫量著シク少キカ或ハ全ク枯死スル場合アリ

綠肥作物、青刈大豆ハ播種ノ時期ニ依リテ收穫量著シク異ナリ、一般ニ早期播種ハ結果良好ナリ

食用作物ハ馬鈴薯ハ成績良好ナルモ里芋、陸稻ハ砂礫地ニテハ栽培ノ價值ナシ

(三) 山腹(乾燥)地

イ、秋、冬 作

山腹(乾燥)地ニ於テハ壤土、砂礫地ト同ジク冬期間ノ混作ハ生育良好ニシテ綠肥作物ハ壤土地ニ比シ收穫量劣レルモ大、小麥ハ何モ收穫優レリ、山腹地ニテハ大麥、小麥ハ最モ有望ナリ

ロ、春、夏 作

夏期作物ハ砂礫地ト略同一ノ傾向ヲ示シ播種ノ時期ニ依リ著シク收穫量ニ差アリ  
即チザイトウイツケンノ跡作トシテ栽培セル青刈大豆ハ收穫多キモ、大麥ノ跡作ハ收穫著シク少シ  
陸稻ハ早害ノタメ枯死又ハ結實ニ至ラズ、栽培ノ價值ナシ、只黍ニアリテハ相當ノ收穫ヲ擧ゲ得タリ

2、考察並摘要

隔畦拔株ヲ行ヒ他ノ食用並綠肥作物ヲ混作セル場合ノ桑樹及混作物ニ關スル成績ヲ總括シ要約スレバ次ノ如シ  
一、桑ニ關スル事項



隔畦拔株ヲ行ヘル混作桑園ハ桑樹半減セルタメ、各區共從來ノ桑園ニ比シ桑葉收穫量ニ於テ減收ヲ來シ、ソノ減收ノ割合ヲ示セバ次表ノ如シ

試驗區	說明	試驗地別ニ依ル指數			
		壤土地	砂礫地	山腹(乾燥)地	平均指數
第一區	隔畦拔株ヲ行ヒ無混作	六九・〇	一〇五・〇	五八・二	七七・四
第二區	綠肥作物ノミ栽培	五九・〇	八二・六	四六・六	六二・七
第三區	綠肥作物ノミ栽培	五九・五	七三・五	五四・四	六二・五
第四區	主トシテ食用作物ヲ栽培	一〇〇・〇	一〇〇・〇	一〇〇・〇	一〇〇・〇
第五區	從來ノ桑園ニテ内作ヲ行ハズ	一〇〇・〇	一〇〇・〇	一〇〇・〇	一〇〇・〇
第六區	間作ヲ行フ	一〇一・二	一〇五・八	七八・〇	九五・〇

即チ平均成績ニ於テ觀ルニ、隔畦拔株行ヒ無混作ノ場合(第一區)二二・六%、綠肥作物ノミ混作(第二區)三七・三%、食用作物ヲ主トシテ混作セル場合(第三區―第七區)ハ三七・五%ノ減收ニシテ、何レノ場合ニ於テモ隔畦拔株ヲ行ヘル混作桑園ニテハ減收ヲ來スモノナレドモ、綠肥並食用作物ノ收穫多ク桑葉ノ減收ニ比シ、收益多キ場合ハ經濟上ニ於テハ損失ナキ理ナルモ精確ナル經濟調査ヲ缺キタルタメ此處ニ判定シ難キハ遺憾ナリ

二、混作物ニ關スル事項

混作ニ供試セル作物ノ收量並桑樹ノ影響ニ就キテ要約スレバ、一般ニ冬期間ノ混作物即チ大麥、小麥、ザイトウイツケンハ收量極メテ多ク、桑樹ニ及ボス影響亦少キガ如シ

然レ共夏期ニ於ケル作物ハ作物ノ種類、土質、播種時期ニ依リ著シキ收量ニ差異ヲ生ジ且往々ニシテ旱魃ニ遭遇シ枯死スル場合アルヲ以テ選定ニ當リテハ注意ヲ要ス、馬鈴薯、里芋、大根等ハ桑樹ニモ惡影響ヲ及ボスコト大ナルモノ、如シ

今各作物ニ就キ要項ヲ示セバ次ノ如シ

A 綠肥作物

1、ザイトウイツケン

從來ヨリ冬作綠肥トシテ廣ク普及セルモノニシテ混作セル場合、收量著シク多ク、從來ノ桑園ニ間作セル場合ハ桑葉收穫量ニハ何等ノ惡影響ヲ及ボスコトナク、混作セル場合ハ桑樹半減ノタメ收量減ゼルモノト思惟サル

2、青刈大豆

ザイトウイツケン同様普及セル夏作綠肥ニシテ、青刈大豆ハ播種ノ時期、土質、播種後ノ氣象狀態ニ依リ收量ニ著シキ差異ヲ生シ、間作ノ場合モ同様ニシテ早期播種ノ場合收量多ク砂礫地及山腹(乾燥)地ノ如キ旱害ニ遭遇シ易キ桑園ニ於テハ播種及栽培ニ留意セザレバ多收ハ望ミ難シ

3、蠶豆

一般ニ普及セル綠肥ナルモ耐寒性弱ク播種ノ適期ヲ失スレバ收量少ナキ憾アリ、本試驗ニ於テハ大根ノ間作ニ栽培セルタメ收量少カリタリ

B 食用作物

1、大麥

冬期間ノ食用作物トシテ、桑園混作トシテモ適當ナルモノニシテ收量多ク、即チ大麥ノ生育期ハ桑樹ノ休眠期ニシテ日照通風可良ナルタメト思惟サル、モ、肥沃ナル桑園ニアリテハ大麥ノ開花後稔實期中ニ倒伏スルコト多キヲ以テ大麥ノ混作ニ當リテハ注意ヲ要ス

2、小麥

大麥ト同ジク冬期間ノ混作物トシテ適當ナルモノ、一ツニシテ收量亦多ク、肥沃ナル桑園ニテハ成熟、開花ノ時期遅レ從ツテ桑樹ニ影響ヲ及ボス場合アルヲ以テ注意セザルベカラズ

3、蕎麥

特ニ山腹(乾燥)地ノ桑園混作物トシテハ大麥ト共ニ最適ナリ  
冬期間ノ混作トシテ適當ナルモ蕎麥ノ收穫ニ依ル收益ハ少ナキ憾ミアリ、桑園混作ノ場合ハ蚜虫ノ寄生著シキ



- 4、大根  
モノ、如シ  
大根ハ桑園混作トシテハ收益多キモ本試験ノ結果ヨリ觀レバ大根ノ混作ハ桑樹ニ惡影響ヲ及ボスコト大ナルモノ、如シ
- 5、馬鈴薯  
馬鈴薯ハ大根ト同ジク混作トシテハ收益多キモ桑樹ニ及ボス惡影響大ナルモノ、如ク、且桑樹ニ對シ紋羽病傳染ノ機會多キヲ以テ栽培ニ當リテハ注意ヲ要ス
- 6、里芋  
桑園ニ於ケル里芋ノ混作ハ往々ニシテ早魃ニ遭遇シ特ニ砂礫地等アリテハ收穫皆無ノ場合アルタメ混作物トシテハ大ナル價值ナシ、尙收穫ヲ得ラル、場合ハ、長期間ノ栽培ヲ要スルタメ桑樹ニ對シ惡影響ヲ及ボス場合アリ
- 7、陸稻  
陸稻ハ桑園混作トシテ價值ナキモノ、如ク、即チ陸稻ノ生育期ハ又桑樹ノ生育期ト同一ナルタメ通風、日照ノ不良ニテ結實ニ至ル場合少ク且早魃ニ遭遇スル場合多シ
- 8、黍  
黍ハ山腹地ニ於ケル混作物トシテハ有利ナルモ黍ニ依ル收益ハ少シ

附表

一、新梢ニ關スル調査(春蠶收穫當時 對二十本)  
イ、壤土地 三ヶ年平均

試驗區	重量	本葉數	新梢長	新梢短	平均長
第一區	八、八	八、二五	三、四六	八、一	二、七六
第二區	三、二	七、六五	三、九	六、五	二、七五
第三區	二、一	六、二〇	三、一	八、四	三、一六
第四區	九、二	六、九三	三、八	五、二	二、七〇
第五區	一〇、三	七、三六	三、六	七、八	一、七〇
第六區	一〇、五	七、六五	三、一	八、二	一、九四
第七區	九、〇	六、五	二、八、三	六、六	一、五八
第八區	三、六	七、六六	四、四	七、八	三、五六
第九區	三、三	七、五八	三、六	九、三	一、九、五

試驗區	重量	本葉數	新梢長	新梢短	平均長
第一區	三、九	八、五	三、三	三、一	三、八八
第二區	二、九	七、三	四、九	七、四	一、七八
第三區	二、八	八、三	三、四	一〇、四	三、四四



別	別	第	第	第	第	試
區	區	七	六	五	四	驗
ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	區
二	一	區	區	區	區	區
一、五	二、〇	二、三	二、七	三、〇	三、三	三、九
八、七	七、六	八、〇	八、五	八、六	八、八	八、八
三、七	三、四	三、九	三、七	三、七	四、〇	四、七
一、〇	八、四	九、二	八、九	一〇、八	一〇、一	一〇、一
三、〇	三、〇	三、九	三、五	三、五	三、五	三、五
三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇	三、〇

八、山腹(乾燥)地 三ヶ年平均

別	別	第	第	第	第	試
區	區	五	四	三	二	驗
ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	區
二	一	區	區	區	區	區
一〇、八	一〇、二	一〇、四	一〇、四	一〇、四	一〇、四	一〇、四
六、五	七、三	七、三	七、五	六、四	七、三	七、〇
三、八	三、六	三、九	三、八	三、九	三、五	三、三
八、四	七、六	九、三	一、五	四、三	九、四	六、六
一八、六	一九、五	二〇、三	二〇、三	一五、六	一九、〇	一九、一

二、葉ス關スル調査 二〇葉平均

A 春蠶期ニ於ケル調査

イ、壤 土地 三ヶ年平均

別	別	第	第	第	第	第	第	試
區	區	七	六	五	四	三	二	驗
ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	ノ	區
二	一	區	區	區	區	區	區	區
一、七	一、七	一、五	一、五	一、六	一、四	一、五	一、七	一、五
一六、四	一七、二	一六、四	一六、八	一七、一	一六、九	一六、四	一七、二	一五、八
一〇、八	九、六	九、三	一〇、四	一〇、四	八、八	八、七	一〇、二	九、九
一三、六	一三、四	一三、一	一三、三	一三、三	一三、五	一三、四	一三、三	一三、一
二二、九	二二、五	二二、三	二二、八	二二、五	二二、七	二二、八	二二、六	二二、五
七、九	七、七	六、九	六、八	七、二	五、一	七、〇	七、九	八、〇
一〇、七	九、六	九、八	九、〇	九、七	九、三	九、七	一〇、一	九、一
六、九	六、四	六、三	七、九	六、三	五、七	六、九	七、三	六、〇
三、七	三、四	三、六	四、一	四、一	三、四	三、五	三、五	三、五
五、四	五、一	五、〇	五、一	五、〇	四、七	五、二	五、二	四、八

ロ、砂 磔地

第	第	第	第	第	第	試
七	六	五	四	三	二	驗
區	區	區	區	區	區	區
一、五	一、七	一、五	一、六	一、七	一、五	一、六
一六、二	一七、〇	一五、九	一五、六	一六、六	一五、四	一六、〇
九、七	九、四	九、二	一〇、二	九、三	九、八	九、五
二二、四	二二、三	二二、七	二二、三	二二、七	二二、八	二二、八
一一、二	一一、八	一一、〇	一一、六	一一、九	一一、〇	一一、八
七、〇	六、七	七、七	七、七	七、八	七、〇	七、九
九、三	九、五	九、二	一〇、四	九、三	九、八	九、六
五、六	六、一	六、〇	五、七	五、四	五、七	六、八
三、〇	二、九	三、一	二、九	二、八	三、一	三、一
四、〇	四、三	四、四	四、二	四、三	四、五	四、八







混作桑園ニ於ケル樹ノ配置ニ關スル撮影

別	別	第	第	第	第	第
區	區	五	四	三	二	一
ノ	ノ	區	區	區	區	區
三、五〇	三、八〇	四、六八	四、二五	三、七〇	三、八三	三、三〇
一八、三	一八、六	二〇、七	二〇、一	一八、四	一九、六	一八、四
一三、六	一五、一	一六、三	一四、六	一四、九	一五、五	一四、〇
一六、三	一七、二	一七、九	一七、五	一六、二	一七、四	一六、〇
一五、九	一六、五	一七、七	一七、八	一七、三	一七、五	一六、〇
一一、一	一二、一	一三、五	一三、〇	一三、三	一二、〇	一二、四
一三、九	一五、〇	一五、五	一五、一	一四、二	一四、四	一三、九
四、二	四、八	四、八	四、四	四、三	四、四	四、六
二、〇	二、六	二、九	一、七	二、六	二、四	二、五
三、二	三、六	三、七	三、三	三、三	三、三	三、五〇



混作桑園ニ於ケル畦ノ配置ニ關スル試験、

別 區	別 ノ	第 五 區	第 四 區	第 三 區	第 二 區	第 一 區
三、五〇	三、八〇	四、六八	四、五九	三、七〇	三、八三	三、三〇
一八、三	一八、六	二〇、七	二〇、一	一八、四	一九、六	一八、四
一三、六	一五、一	一六、三	一四、六	一四、九	一五、五	一四、〇
一六、三	一七、三	一七、九	一七、五	一六、三	一七、四	一六、〇
一五、九	一六、五	一七、七	一七、八	一七、三	一七、五	一六、〇
二、一	三、一	三、五	三、〇	三、三	二、〇	三、四
一三、九	一五、〇	一五、三	一五、四	一四、二	一四、五	一三、九
四、二	四、八	四、八	四、四	四、三	四、四	四、六
二、〇	二、六	二、九	一、七	二、六	二、四	二、五
三、三	三、四	三、七	三、五	三、三	三、三	三、五〇



## 二、混作桑園ニ於ケル畦ノ配置ニ關スル試驗

農林技手

宮

下

正

道

助手

梅

田

浩

### 緒言

桑園ニ食用又ハ綠肥作物等ヲ混作スル目的ヲ以テ畦間特ニ廣キ桑園ヲ設ケントスル場合、畦ノ配置即チ拔畦ノ方法ヲ如何ニスルガ最モ有利ナルヤヲ明ラカニセムトシ、昭和九年十月既設桑園ノ一部拔株ヲ行ヒ、小麥及青刈大豆ヲ混作シ調査セル所、昭和十二年ニ至ル三ケ年間ノ成績ニ於テ一定ノ傾向ヲ認メ得タルヲ以テ之ヲ示シ、桑園ノ拔株ヲ行ヒ混作セントスル養蠶者ノ參考ニ資セムトス

### 一、試驗ノ方法

#### 1、試驗區ノ設定

試驗區	畦間	混作	備考
第一區	三、〇〇	小麥	既設桑園ノ三畦、中一畦ヲ拔株スルモノトス
第二區	三、〇〇	小麥	既設桑園ヲ隔畦ニ拔株スルモノトス
第三區	四、五五	小麥	既設桑園ノ二畦ヲ殘シ二畦ヲ拔株スルモノトス
		春、夏作物	



2、供試桑園ノ概況

- (1) 所在地 本場西構外第五號地
- (2) 土質 壇壤土 平坦地ニシテ地味豊ナリ
- (3) 桑品種 甲撰
- (4) 樹齡 大正八年栽植
- (5) 畦ノ方向 南北
- (6) 仕立法 春秋兼用、根刈拳式仕立
- (7) 供試面積 對一區 一、五アール

3、桑樹施肥量

對一〇アール (各區共同量)

肥料名	對一〇アール			對一區(一、五アール)		
	施用量	含有三成分	加里	施用量	含有三成分	加里
堆肥	一、五〇〇	三、九〇〇	九、三〇〇	二五、〇〇〇	一、三三五	〇、五八五
大豆粕(撒)	一〇〇	七、〇〇〇	二、〇〇〇	一五、〇〇〇	一、〇二〇	〇、一七五
硫酸アンモニア	七五	一五、三七五	—	一一、二五	—	—
過磷酸石灰	五〇	—	—	七、五〇	—	—
硫酸加里	二〇	—	九、六〇〇	三、〇〇〇	—	—
計	—	三、〇七五	二〇、九〇〇	—	四、五一一	二、二二三
						三、一三五

(一) 混作物ノ播種量

4、混作物ノ耕種概要

試験區	A 秋、冬作 (小麦)		備考
	對一〇アール播種量	對一區(一、五アール)播種量	
第一區	三、〇〇〇立	〇、四五〇立	廣キ畦間ニ小麦ノ作條三畦(畦間七〇糎)ヲ設ケ狭キ畦間ニハ播種セザルモノトス
第二區	四、〇〇〇	〇、六〇〇	各畦間ニ小麦ノ作條三畦(畦間七〇糎)ヲ設ケルモノトス
第三區	四、〇〇〇	〇、六〇〇	廣キ畦間ニ小麦ノ作條六畦(畦間七〇糎)ヲ設ケ狭キ畦間ニハ播種セザルモノトス

試験區	B 春、夏作 (青刈大豆)		備考
	對一〇アール播種量	對一區(一、五アール)播種量	
第一區	一〇、〇〇〇立	一、五〇〇立	廣キ畦間ニ大豆ノ作條四畦(畦間六〇糎)ヲ設ケ狭キ畦間ニハ播種セズ
第二區	一五、〇〇〇	二、二五〇	各區間ニ大豆ノ作條四畦(畦間六〇糎)ヲ設ケルコト
第三區	一五、〇〇〇	二、二五〇	廣キ畦間ニ大豆ノ作條八畦(畦間六〇糎)ヲ設ケ狭キ畦間ニハ播種セズ

(二) 混作物ノ肥料

對一區 一、五アール

混作物ノ種類	試驗區		
	堆肥	硫酸アンモニア	過磷酸石灰
小麦	七五	一、〇〇〇	二、七〇〇
青刈大豆	—	—	—
小麦ノ追肥	—	一、〇〇〇	—



(三) 混作物ノ品種

混作物ノ種類	品名
小 麥	白毛南京
青 刈 大 豆	昭和十年 普通白大豆、昭和十一年 清津大豆(朝鮮産)、昭和十二年 黑千石

二、試験ノ成績

(一) 收穫量ニ關スル調査  
A 桑樹ニ關スル調査

試験區	年次	春		期		晚秋		兩期計		指數
		總量	新梢量	葉量	葉量	葉量	葉量			
第一區	昭和十一年	一、八九、〇〇	七六、二〇〇	五五七、三六	七五、六〇〇	一、三六、七三六				
	昭和十一年	一、四三、六〇〇	八四〇、〇〇〇	六二、六〇〇	八四、八〇〇	一、四六、四〇〇				
	平均	一、八八、六〇〇	一、〇〇、八〇〇	七八五、〇〇〇	七七一、一六〇	一、三五、一六〇				一〇〇、〇
第二區	昭和十一年	一、三六、四〇〇	五三六、四〇〇	三九六、九三六	五五四、四〇〇	九五、三三六				
	昭和十一年	一、三三、〇〇〇	六七、二〇〇	四八、五九四	六二、五〇〇	一、〇九五、二三四				
	平均	一、三四、二〇〇	六八、八〇〇	四六、七四八	五二、七四〇	九五、三三六				八〇、四

(二) 枝條ニ關スル調査  
A 春蠶收穫當時ニ於ケル調査

試験區	年次	對		本		均		總芽數
		一條	節間	硬	度	發芽數	不發芽數	
第一區	昭和十一年	一、三三、〇〇	三、三六八	三、二〇〇	四一、七	二、三	四、〇	四、〇
	昭和十一年	一、三六、〇〇	三、四四〇	四、九五	三六、八	七、七	四、五	四、五
	平均	一、三六、二〇	三、四〇二	三、七〇八	三九、三	五、〇	四、三	四、三
第二區	昭和十一年	一、五八、三	三、三四二	三五、五五	四、二	二、二	四、七	四、七
	昭和十一年	一、七六、〇	三、三九二	三九、九〇	三四、九	九、八	四、四	四、四
	平均	一、六八、二	三、三六七	三七、七三	四〇、一	六、〇	四、六	四、六
第三區	昭和十一年	一、六三、三	三、三六八	三、二〇〇	四一、七	二、三	四、〇	四、〇
	昭和十一年	一、六六、〇	三、四四〇	四、九五	三六、八	七、七	四、五	四、五
	平均	一、六六、七	三、四〇二	三、七〇八	三九、三	五、〇	四、三	四、三



試験區	年次	條對數	株數	枝條長(平均)	徑
第一區	昭和十一年	二、四 <sup>本</sup>	欠調	一、九二四	一、二八
	昭和十二年	二、〇	欠調	二、〇〇八	一、二〇
平均	平均	三、一	欠調	一、五四〇	一、一九
第二區	昭和十一年	二、〇	欠調	一、八八四	一、二四
	昭和十二年	三、二	欠調	二、〇三二	一、二五
平均	平均	三、一	欠調	一、七三〇	一、三二
第三區	昭和十一年	九、四	欠調	一、九六一	一、二五
	昭和十二年	三、八	欠調	二、〇四七	一、三二
平均	平均	一、〇、八	欠調	一、七二〇	一、三五

(三) 樹勢ニ關スル調査

試驗區	供試株數	昭和十一年	昭和十二年	株數	發生病ノ割合
第一區	七〇	〇	〇	一、五	一、四
		〇	〇	一、五	一、四
平均	平均	〇	〇	一、五	一、四
第二區	四〇	〇	〇	一、五	一、四
		〇	〇	一、五	一、四
平均	平均	〇	〇	一、五	一、四
第三區	四〇	〇	〇	一、五	一、四
		〇	〇	一、五	一、四
平均	平均	〇	〇	一、五	一、四

第三區	二	一	二	三	〇	三	六	二
-----	---	---	---	---	---	---	---	---

B 混作物ノ收穫ニ關スル調査

(一) 秋、冬 作 (小麥)

試驗區	年次	播種月日	收穫月日	對一區(一、五アール)			對一〇アール換算		
				容量	實重	莖葉ノ重量	容量	實重	莖葉ノ重量
第一區	昭和十一年	十月十九日	六月十五日	四、七	三〇、九五	六六、一〇〇	二七、八〇〇	二〇六、三三三	四〇〇、六六六
	昭和十二年	十一月八日	六月廿五日	三、〇	二二、六五	三〇、〇五	二六、六七	一四、三三三	二〇〇、三三三
	平均	平均	十一月十七日	六月廿五日	三、八	二七、四〇	四八、八〇	二七、二三三	三〇六、六六六
第二區	昭和十一年	十月十九日	六月十五日	六、五、四	四八、二〇〇	八七、六六五	四三、六〇〇	三三二、三三三	五八四、四四四
	昭和十二年	十一月八日	六月廿五日	四、〇	二八、六五〇	三七、六五〇	二九、三三三	一九一、〇〇〇	二五二、〇〇〇
	平均	平均	十一月十七日	六月廿五日	五、〇、五	三九、四二五	六二、六六五	三六、四六六	二六六、六六六
第三區	昭和十一年	十月十九日	六月十五日	五、七	四三、七〇〇	九四、四〇〇	三九、八〇〇	二九一、三三三	六〇九、三三三
	昭和十二年	十一月八日	六月廿五日	三、〇	二五、八〇〇	二七、六六五	二五、三三三	一七二、〇〇〇	一八四、三三三
	平均	平均	十一月十七日	六月廿五日	四、三、五	三四、七五〇	六一、〇三三	三二、五三三	四九六、六六六



(二) 春、夏作 (青刈大豆)

試験區	年次	播種月日	收穫月日	生草收量	
				對一區(一、五アール)	對一〇アール換算
第一區	昭和十一年	五月廿五日	七月卅一日	五、三七五	三四、五〇〇
	昭和十一年	八月十七日	九月十五日	二、四五〇	七六、三三三
	昭和十二年	六月廿九日	八月廿三日	一九、五〇〇	七六、六六七
平均				五、四四二	三八、八三三
第二區	昭和十一年	五月廿五日	七月卅一日	六、六五	四七、五〇〇
	昭和十一年	八月十七日	九月十五日	一八、一〇〇	二〇、六七
	昭和十二年	六月廿九日	八月廿二日	一四、三〇〇	九六、〇〇〇
平均				七、〇〇八	五〇、〇三六
第三區	昭和十一年	五月廿五日	七月卅一日	一〇、六二	六七、七四六
	昭和十一年	八月十七日	九月十五日	一九、一五〇	一九四、三三三
	昭和十二年	六月廿九日	八月廿三日	一七、七〇〇	一、三六、〇〇〇
平均				一〇、三〇四	六八、六九三

三、試験成績ノ概評

1、成績概括

A 桑樹ニ關スル調査

(一) 收穫量ニ就テ

春秋ヲ通ジ合計桑葉收穫量ヲ比較スルニ、三畦中一畦拔株セル第一區最モ收量多ク、隔畦拔株セル第二區ハ第一區ニ比シ指數八〇、四ヲ示シ、稍劣リ二畦ヲ殘シ二畦拔株セル第三區ハ最モ劣リ指數七三、二ヲ示セリ

(二) 枝條ノ伸長ソノ他ニ就テ

枝條ノ生育伸長ソノ他ニアリテハ、各區間ニ一定ノ傾向ナク顯著ナル差異ヲ認めラレズ

(三) 樹勢ニ就テ

樹勢即チ萎縮病ノ發生ニ就テハ、第二區最モ多ク二二、二ニシテ第一區ノ一九、四四%之ニ亞ギ、第三區ハ兩區ニ比シ著シク少ナシ

B 混作物ニ關スル調査

冬期間ニ於ケル小麦作ハ各區共頗ル良好ニシテ、小麦ノ收穫量ヲ比較スルニ、第二區(隔畦拔株)最モ多ク、三三六立余ニシテ、第三區(二畦ヲ殘シ二畦拔株)之ニ亞ギ、第一區(三畦中一畦拔株)最モ少シ

小麦ノ跡作ニ栽培セル綠肥青刈大豆ノ生草收量ヲ比較スルニ、秋、冬作ト全ク同一傾向ヲ示シ第三區最モ多ク第一區、第一區ノ順位タリ

2、總括並摘要

特ニ畦間廣キ桑園ヲ設ケ混作物ヲ行ハントスル場合畦ノ配置ニ關シ前記ノ成績ニ依リ之ヲ總括スレバ、經濟的調査ヲ欠キタルメ正確ナル比較ヲ行ヒ得ザリシヲ遺憾トスルモ、桑葉收穫ヲ主体トスル混作物桑園ヲ設ケントスルニハ三畦中一畦拔株(第一區)有利ニシテ、カ、ル桑園ニ於テモ尙相當ノ混作物ニ依ル收量ヲ擧ゲ得ラル



亦混作物ヲ主体トスル場合ハ一 隔畦拔株ヲ行ヘル第二區有利ナルモ第二區ハ 八桑葉收穫量著シク少ナキヲ以テ養  
蠶者ニ於テ混作セントスル場合ハ第一區即チ三畦中一畦拔株最モ有利ト思惟セラル

附表

一、新梢ニ關スル調査 (春蠶收穫當時 對二十本)  
三ヶ年 平均

試驗區	對量		本葉數		新梢		平均	
	重	量	最	長	最	短	平	均
第一區	二、五	二、三	七、九	三、五、四	八、一	一七、九八		
第二區	三、〇五	三、〇五	七、九	三、七、一	七、八	一三、二〇		
第三區	一、〇五	一、〇五	七、三	三、七	九、九	一八、二〇		

二、葉ニ關スル調査 (二〇葉 三ヶ年平均)  
第一表 春蠶期ニ於ケル調査

試驗區	平均一葉ノ重量		葉長		葉幅		葉柄	
	最	長	最	短	最	短	最	短
第一區	一、六五	一、四八	一〇、七	三、一七	三、三	八、〇	六、五	三、三
第二區	一、六〇	一、五、四	一〇、四	三、五七	三、一	八、〇	五、八	三、二
第三區	一、三三	一、六、一	七、九	二、六六	一〇、九	六、四	五、〇	三、一

第二表 晚秋蠶期ニ於ケル調査

試驗區	平均一葉ノ重量		葉長		葉幅		葉柄	
	最	長	最	短	最	短	最	短
第一區	四、七五	二、三	一六、〇	一八、六五	二〇、三	一五、〇	一六、一六	二、六
第二區	四、七〇	二、二	一七、〇	一七、五八	一九、七	一四、四	一六、三九	二、五
第三區	五、三〇	二、三、〇	一六、〇	一九、六二	二〇、九	一三、八	一七、四三	二、七

参考文献

- 1、大越恒郎 桑園間作禾穀及蔬菜栽培試験 昭和十年三月 一一九頁
- 2、今村良郷 桑園拔株並間作綠肥栽培試験 昭和十一年三月 三一—四六頁
- 3、土井一道 普通畦、寄畦比較試験 昭和十一年三月 一一—二五頁
- 4、農林省蠶糸局 桑園混作試験成績 昭和十一年三月 五六一—六三頁
- 5、東京府蠶業試験場事蹟要録 第十六號 昭和十二年三月 四七一—五三頁
- 6、稻増修 桑園混作ニ關スル試驗 昭和十二年三月 一七九—一八七頁
- 7、山内眞樹 隔畦拔株桑園ニ於ケル混作物ノ種類 昭和十二年三月 一七九—一八七頁
- 現王國憲三 鹿兒島縣蠶業試驗場報告 第二十三號



附表 調査中ニ於ケル氣象概況

年	月	平均氣		平均溫度		日照時數 (時)	降水日數	降水量計 (mm)
		平均	每日最高平均最低平均	平均	每日最高平均最低平均			
昭和九年	十月	一四、〇	一九、〇	八、〇	一四、〇	一四、〇	三	九二、九
	十月	一三、四	二二、四	八、〇	五、〇	五、〇	三	一〇、九
	十月	九、九	一八、二	七、〇	六、〇	六、〇	三	八九、二
	十一月	七、六	一五、〇	七、〇	六、〇	六、〇	二	一〇、三
	十一月	二、六	九、〇	八、〇	四、七、八	四、七、八	二	三三、五
	十一月	一、八	九、一	七、〇	六、四	六、四	二	八、二
昭和十年	十二月	三、〇	八、九	八、〇	四、六	四、六	四	五五、八
	十二月	五、一	一三、三	七、〇	六、五、二	六、五、二	四	〇、〇
	十二月	一、三	七、一	六、〇	五、七、三	五、七、三	一	二二、〇
	十二月	一、一	八、七	六、〇	五、四	五、四	一	四、六
	十二月	四、二	一、九	七、〇	六、一	六、一	一	三、〇
	十二月	五、四	二、〇	七、〇	五、〇	五、〇	一	五三、一

年	月	平均氣		平均溫度		日照時數 (時)	降水日數	降水量計 (mm)
		平均	每日最高平均最低平均	平均	每日最高平均最低平均			
昭和九年	三月	五、七	一四、一	五、九	八、七、四	八、七、四	一	一、八
	三月	八、五	一六、七	六、〇	七、三	七、三	二	四、四
	三月	五、二	一一、〇	七、〇	五、九	五、九	八	八、六
	四月	一、六	八、六	七、〇	五、八	五、八	二	三九、七
	四月	一四、九	二一、〇	六、九、〇	五、四	五、四	五	九、五
	四月	一四、七	二一、四	六、〇	六、〇	六、〇	二	三、〇
	五月	一七、六	二六、七	七、〇	九、一	九、一	二	二、七
	五月	一九、六	二七、三	七、〇	九、一	九、一	二	二、七
	五月	三三、二	三〇、三	八、〇	九、〇	九、〇	一	一、一
	五月	三三、三	三〇、三	八、〇	九、〇	九、〇	一	一、一
	六月	二四、〇	二七、五	八、〇	九、〇	九、〇	三	八、五
	六月	二四、四	三〇、三	七、九、〇	八、七、八	八、七、八	三	四八、七
	六月	二六、六	三三、一	七、〇	五、〇、六	五、〇、六	三	三、四
	六月	二五、六	三三、〇	七、〇	五、〇、六	五、〇、六	三	三、四
	七月	二四、四	三〇、三	七、九、〇	四、七、八	四、七、八	六	二八
	七月	二四、〇	二七、五	七、九、〇	四、七、八	四、七、八	六	二八
	七月	二五、六	三三、一	七、〇	五、〇、六	五、〇、六	三	三、四
	七月	二六、六	三三、一	七、〇	五、〇、六	五、〇、六	三	三、四
	八月	三三、四	三〇、〇	八、〇	九、〇	九、〇	六	一六、八
	八月	三三、九	三〇、六	八、〇	九、〇	九、〇	六	一六、八
	八月	一九、七	二七、九	八、〇	九、〇	九、〇	七	一九、〇
	八月	一九、七	二七、九	八、〇	九、〇	九、〇	七	一九、〇
	九月	一七、五	二五、三	八、〇	九、〇	九、〇	二	三、五











# 有機質(自給)肥料肥効比較試験 (第一報)

七四

農林技手 宮 下 正 道  
助 手 梅 田 浩

## 緒 言

桑園肥料ノ種類如何ハ桑樹ノ生育及收穫量等ニ著シキ影響アルハ容易ニ察知シ得ラル、所ニシテ、桑園ノ能率増進  
地力ノ維持ヲ圖ラントスルニハ有機質肥料ノ施用ト、適當ナル無機質(主トシテ販賣肥料)ノ速効性肥料ノ併用ニ俟  
ツ外ナシ

然而桑園經營費中最モ支出多キ肥料代ノ節減(桑園ニ施與セントスル肥料成分ハ減ゼズ)ヲ圖リ生産費ノ遞減ヲ行  
ハントスルタメニハ有機質肥料ノ施用ハ極メテ緊要ナル事ニシテ、之ガ爲各府縣ニ於テ自給肥料ノ改良増産ヲ獎勵シ  
ツ、アリ

カ、ル有機質(自給)肥料ヲ主タル窒素給源トシテ桑園施肥ヲ行ヒタル場合、桑樹ノ生育、收穫量並樹勢等ニ如何  
ナル影響アルヤヲ知ラントシテ昭和六年栽植ヲ行ヒ、昭和十二年ニ至ル期間調査ヲ行ヒタルニ略一定ノ傾向ヲ認め得  
タルヲ以テ之ヲ公ニシ斯業關係者並一般當業者ノ參考ニ資セムトス

因ニ本試験ハ元技手旗野睦郎氏之ガ計畫實施シ、元技手糸口信義、青柳徳男、秋保盛男ノ諸氏ニ頁フ所多シ

## 一、試験ノ方法

### (一) 試験區ノ設定

# 有機質(自給)肥料肥効比較試験



# 有機質(自給)肥料肥効比較試験 (第一報)

七四

農林技手 宮下正道  
助手 梅田浩

## 緒言

桑園肥料ノ種類如何ハ桑樹ノ生育及收穫量等ニ著シキ影響アルハ容易ニ察知シ得ラル、所ニシテ、桑園ノ能率増進  
地方ノ維持ヲ圖ラントスルニハ有機質肥料ノ施用ト、適當ナル無機質(主トシテ販賣肥料)ノ速効性肥料ノ併用ニ俟  
ツ外ナシ

然面桑園經營費中最モ支出多キ肥料代ノ節減(桑園ニ施與セントスル肥料成分ハ減ゼズ)ヲ圖リ生産費ノ遞減ヲ行  
ハントスルタメニハ有機質肥料ノ施用ハ極メテ緊要ナル事ニシテ、之方爲各府縣ニ於テ自給肥料ノ改良増産ヲ獎勵シ  
ツ、アリ

カ、ル有機質(自給)肥料ヲ主タル空素給源トシテ桑園施肥ヲ行ヒタル場合、桑樹ノ生育、收穫量並樹勢等ニ如何  
ナル影響アルヤヲ知ラントシテ昭和六年栽植ヲ行ヒ、昭和十二年ニ至ル期間調査ヲ行ヒタルニ略一定ノ傾向ヲ認め得  
タルヲ以テ之ノ公ニシテ斯業關係者並一般當業者ノ參考ニ資セムトス

因ニ本試験ハ元技手藤野陸郎氏之方計畫實施シ、元技手糸口信義、青柳徳男、秋保盛男ノ諸氏ニ頁ヲ所多シ

## 一、試験ノ方法

### (一) 試験區ノ設定

# 有機質(自給)肥料肥効比較試験



試験區	對一〇アール施肥量	備考
標準區	寒肥 大豆粕 一、五〇 <sub>斤</sub> 春肥 過磷酸石灰 二、二五 <sub>斤</sub> 糞 三、七五 <sub>斤</sub> 夏肥 春肥 大豆粕 三、五 <sub>斤</sub> 加フ	上記各區共 含有三成分量ハ
堆肥區	堆肥 三、七五 <sub>斤</sub> 十一月下旬 1 七月下旬 2 七月下旬 3 施用ノコト	窒素 一、八七五 <sub>斤</sub> 磷 九、七五 <sub>斤</sub> 加里 三、六〇 <sub>斤</sub> トス
綠肥區	青刈大豆 一、五〇 <sub>斤</sub> 八月月上旬 一、九七五 <sub>斤</sub> 五月月上旬 過磷酸石灰 三、五〇 <sub>斤</sub> 加里 三、三 <sub>斤</sub> 加用セリ	
藁區	藁 二、五〇 <sub>斤</sub> 十一月下旬 過磷酸石灰 三、五〇 <sub>斤</sub> 加里 三、三 <sub>斤</sub> 加用セリ	
野外雜草區	野外雜草 三、七五 <sub>斤</sub> 七月下旬 過磷酸石灰 三、〇 <sub>斤</sub> 加里 三、三 <sub>斤</sub> 加用セリ	

(二) 供試桑園ノ概況

- 1 供試桑園 本場西構外桑園 (西山梨郡甲運村宇和戸)
- 2 土質 平坦地 埴壤土 地味肥沃タリ
- 3 供試品種 一ノ瀬
- 4 樹齡 昭和六年栽植
- 5 栽植距離 畦間一、五五 株間〇、九〇
- 6 仕立 根刈拳式仕立 春秋兼用桑園
- 7 供試面積 一區 二アール
- 8 管理 本場普通桑園ノ管理法ニ準ズ

(三) 調査事項

- 1 春蠶期ニ於ケル調査



- 1 發芽調査 收穫量調査
- 2 收穫時ニ於ケル枝條、新梢並葉ニ關スル調査
- 3 夏秋蠶期ニ於ケル調査
- 4 夏秋蠶ニ於ケル枝條ノ伸長及開葉數調査
- 5 晚秋蠶收穫量調査
- 6 葉ニ關スル調査、秋末枝條ノ調査
- 7 樹勢調査
- 8 不良株數、萎縮病罹病數ノ調査
- 9 桑葉水分調査
- 10 春蠶及晚秋蠶期ニ於ケル調査
- 11 其他必要ナル事項

二、試験ノ成績

(一) 發芽ニ關スル調査 (昭和十、十一、十二年平均)

試驗區	脱苞	燕口	開期					八十八夜開葉數
			1	2	3	4	5	
標準區	四、一九	四、三	四、二四	四、二五	四、二六	四、二七	四、二九	
堆肥區	四、二〇	四、三	四、二四	四、二五	四、二六	四、二七	四、二九	
綠肥區	四、一九	四、三	四、二四	四、二五	四、二六	四、二七	四、二九	
藁區	四、二〇	四、三	四、二四	四、二五	四、二六	四、二七	四、二九	
野外雜草區	四、二〇	四、三	四、二四	四、二五	四、二六	四、二七	四、二九	

(二) 收穫量ニ關スル調査 (對一〇アール)

試驗區	年次	蠶			葉量	晚秋蠶期收穫量	兩期計葉量	指數
		總量	一條量	新梢量				
標準區	昭和八年	二、六五、〇〇	一、三六、〇〇	一、二五、〇〇	一、〇九、一九	八七一、〇〇	一、九六三、〇〇	100.0
	九年	二、五三、〇〇	一、三六、二〇	一、二九、八〇	一、〇九、七〇	一、四一、八〇	二、三九六、〇〇	
	十年	一、九八、四〇	一、〇六、六〇	九四、〇〇	六六六、三三	一、〇一七、五〇	一、六八三、八三	
	十一年	一、七七一、〇〇	八六、二〇	一九五、〇〇	七〇二、七五	一、三三、九〇	一、八八六、六二	
	十二年	二、〇五、一〇	九四、四〇	一、四四、八〇	九四、三九	九五五、四〇	一、八九九、八三	
平均	二、一九、二四	一、〇七、六八	一、二七、八六	八九二、六八	一、〇四、三八	一、九六六、九六		
堆肥區	昭和八年	二、三六、〇〇	一、二五、〇〇	一、〇二、〇〇	八八五、六〇	六〇八、〇〇	一、四九三、六〇	
	九年	一、六六、〇〇	六九、九〇	九七七、一〇	八七、六〇	八六五、八〇	一、六三三、四〇	
	十年	二、二〇、五〇	一、〇三、七〇	一、六一、八〇	八五、九三	一、〇三、八〇	一、六七七、三三	
	十一年	二、二七、六〇	八七、九〇	一二九、八〇	九八、五八	一、〇四七、一〇	二、〇〇七、六八	
	十二年	二、三三、八〇	一、〇三、八〇	一二九、六〇	九五九、〇四	九三五、六四	一、八九四、六八	
平均	二、一〇、三八	九五、四六	一、四八、九二	九〇、三六	八九四、〇六	一、七九五、四四		
綠肥區	昭和八年	二、四九、〇〇	一、三六、〇〇	一、一三、〇〇	九七七、二〇	八九、〇〇	一、八〇六、二〇	
	九年	二、一七、〇〇	一、〇四、五〇	一、一三、五〇	九五、一〇	一、〇四九、〇〇	二、〇〇五、一〇	
	十年	一、九六、八〇	九六、二〇	九六、五〇	七四、五四	九三二、四〇	一、六四六、九四	
	十一年	一、三九、六〇	五八、六〇	八四、〇〇	六四、五七	八五、〇〇	一、四九六、六七	
	十二年	一、五九、二〇	七五、六〇	八八、六〇	七〇、六八	七四、四〇	一、四〇〇、九二	
平均	一、九五、三〇	九四、三八	九八、九四	七九、八九	八六九、九四	一、六三三、七六		



試驗區	昭和八年		昭和九年		昭和十年		昭和十一年		昭和十二年		平均
	總量	新梢量	葉量	晚秋量	兩期計	春葉量	晚秋葉量	計葉量	計葉量		
標準區	一、八六七、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	八六七、〇〇〇	七七一、六〇〇	五四二、〇〇〇	一、三三三、六〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
堆肥區	一、三三三、〇〇〇	五三三、八〇〇	七二〇、二〇〇	六二五、七〇〇	六四六、〇〇〇	一、二六二、九〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
綠肥區	一、三九四、九〇〇	六六六、四〇〇	七七八、五〇〇	五五五、〇八三	七〇六、七〇〇	一、二七一、七〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
雜草區	一、三五二、二七五	六三三、九七五	七三七、三〇〇	五九九、四八八	五九二、〇〇〇	一、一九一、四四八	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇
平均	一、三三六、八〇〇	四三三、二〇〇	六三七、二七五	五〇〇、五四四	六〇〇、三三八	一、二〇七、七〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇

第二表 五ヶ年平均收穫量表

試驗區	昭和八年		昭和九年		昭和十年		昭和十一年		昭和十二年		平均
	總量	新梢量	葉量	晚秋量	兩期計	春葉量	晚秋葉量	計葉量	計葉量		
標準區	二、一九二、四〇〇	一、二二七、八六〇	八九二、六八	一、〇〇四、三三八	一、九二六、九五六	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	
堆肥區	二、二〇四、三〇〇	一、二四八、九二〇	九〇一、三三九	八九四、〇〇八	一、七九五、四〇四	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	
綠肥區	一、九五、三〇〇	九一、九四〇	七九三、八九	八六九、四八	一、六三三、七六七	八八、九	八八、九	八八、九	八八、九	八八、九	
雜草區	一、三三六、五五〇	七九三、三三〇	六〇〇、四七五	六〇〇、三三八	一、二二〇、七三三	六八、四	六八、四	六八、四	六八、四	六八、四	
平均	一、七五三、三六〇	九〇〇、二四〇	七四八、三三七	七四〇、四八	一、四六二、三八五	八三、八	八三、八	八三、八	八三、八	八三、八	

(三) 枝條調查

A 春蠶期收穫時ニ於ケル調査 五ヶ年平均

試驗區	對一株平均		枝條長	條數	徑	節	肉一硬	度	發芽數		不發芽數	總芽數
	對一株平均	對一株平均							對一株平均	對一株平均		
標準區	八、八	一、八七一	一、四二	一、四二	三、三三	二八、五〇	三九、三	五、九	四、二	四、二	四、二	
堆肥區	九、四	一、六三三	一、一九	三、〇七	三、〇七	三三、七	四一、五	六、二	六、二	六、二	六、二	
綠肥區	九、六	一、七六一	一、一三	二、九五	二、九五	三三、一五	三三、〇	八、二	四、二	四、二	四、二	
雜草區	九、四	一、二六四	一、〇〇	二、八四〇	二、八四〇	三三、〇五	二七、七	六、六	六、六	六、六	六、六	
平均	九、二	一、五〇二	一、二二	二、七九二	二、七九二	三三、〇九二	三三、二	六、一	六、一	六、一	六、一	

(四) 樹勢調査

B 秋末ニ於ケル調査 五ヶ年平均

試驗區	對一株平均		枝條長	條數	徑
	對一株平均	對一株平均			
標準區	九、九	一、七八〇	一、二六	一、二六	一、二六
堆肥區	一〇、五	一、七二六	一、二五	一、二五	一、二五
綠肥區	一〇、七	一、七三二	一、一五	一、一五	一、一五
雜草區	一〇、〇	一、四七一	〇、九九	〇、九九	〇、九九
平均	八、九	一、七〇六	一、一五	一、一五	一、一五



試驗區	供試株數	萎縮病數				合計	萎縮病ノ發生割合
		昭和八年	昭和九年	昭和十年	昭和十一年		
標準區	一六	三	一	二	一	七	五、二
堆肥區	二六	〇	四	五	三	一二	一六、二
綠肥區	二六	一	一	一	一	四	一、八
藥區	二六	一	一	一	一	四	一、二
野外雜草區	二六	一	一	一	一	四	一、二
合計	一〇六	六	八	一〇	六	三〇	二八、四

### 三、成績ノ概括並考察

#### A 成績ノ概要

##### 1、發芽ニ關スル調査

春蠶期ニ於ケル發芽ニ關シテハ標準區、綠肥區ハ他ノ各區ニ比シ脱苞稍早キ傾向アルモ燕口開葉期ニアリテハ各區間差ヲ認メラズ

##### 2、收穫量ニ就テ

五ヶ年内ニ於ケル平均收穫量ニ就キテ觀ルニ標準區最モ多ク、堆肥區指數九三、七、綠肥區八六、八ヲ以テ之ニ亞ギ野外雜草區七六、三ノ順位ニシテ藥區ハ指數六三、二ニテ著シク劣レリ

##### 3、枝條調査

春蠶收穫時並秋末ニ於ケル調査共ニ略同一ノ傾向ヲ示シ、標準區生育伸長最モ良好ニシテ綠肥區、堆肥區、野外雜草區ノ順位ニシテ藥區最モ生育劣レリ

枝條ノ硬度ニアリテハ生育狀況ト相反シ、不良ナル藥區ニ於テ最モ高ク、生育良好ナルニ從ヒ硬度低キ傾向ヲ示セ

發芽、不發芽數ニアリテハ一定ノ傾向ナキモ略生育狀況ニ伴ヘリ

#### B 考察

桑園施肥ノ際有機質(自給)肥料ヲ主タル窒素給源トセル場合、標準肥料ニ比較セル前記成績ニ依リ考察ヲ加フレバ次ノ如シ

##### 1、堆肥

有機質(自給)肥料間ニ於テハ最モ肥効ナルハ一般ニ察知シ得ベキ事ニシテ收穫量ニ於テハ標準肥料ニ比シ九三、七%ニシテ堆肥ヲ以テ桑園肥料ノ窒素給源トスルモ相當効果アルヲ認メ得ラル

然シテ堆肥ヲ施與セル場合ハ他ノ有機質ヲ施與セル場合ニ比較シ逐次收穫量ヲ増加スルモノニシテ、昭和十一年、昭和十二年ノ收穫量ニ於テハ著シク増加シ標準區ニ優レル成績ヲ示セリ

##### 2、綠肥

綠肥ヲ主タル窒素給源トセル場合モ相當ノ効果ヲ收メ得ラル、モノニシテ、堆肥區ニ比シ稍劣ルト雖モ標準肥料ニ比シ八六、八%ヲ示セリ

樹勢ニ於テ堆肥區ニ次デ萎縮病ノ發生多シ

即チ肥効(收穫量)多キ堆肥、綠肥ヲ施用セル兩區ニ萎縮病ノ發生多キ傾向ヲ示セリ

##### 3、野外雜草

野外雜草ヲ主タル窒素給源トセル場合ハ收穫量稍減少シ、標準肥料ニ比シ七六、三%タルハ酸酵分解遲緩ナルト主トシテ夏季施用ノタメ施用ニ際シ斷根ニヨルタメ肥効少ナキモノト思惟セラル

主樹勢ニアリテ萎縮病ノ發生著シク少シ

##### 4、藥

生藥ヲ主タル窒素給源トセル場合ハ著シク收穫量減少シ桑樹ノ發育伸長著シク劣レリ、萎縮病ノ發生又少シ



C 總括

即子依之觀之桑園肥料トシテハ有機質(自給)肥料タル堆肥、綠肥ヲ主トシ適當ナル速効性肥料ノ併用ハ桑園ノ能率並地力ノ維持増進上極メテ効果大ニシテ生葉、野外雜草ノ施用ハ肥効著シク少ナキヲ以テ堆肥トシテ腐熟セシメ施用スルコト肝要ナリ

附表

第一表 新梢ニ關スル調査 (春蠶收穫時) 五ヶ年平均

試驗區	對新梢一本平均		備考
	新梢量	新梢長	
標準區	三三八	一九、六	對二〇本平均
堆肥區	二二九	一八、六三	
綠肥區	一一、一	一六、九六	
藥區	八、一	一九、二四	
野外雜草區	八、六	一六、一八	
		着葉數	
		八、〇	
		六、七	
		六、八	
		六、四	
		七、〇	

第二表 葉ニ關スル調査 (單位纏) 五ヶ年平均

1、春蠶期ニ於ケル調査

試驗區	葉長		葉中		葉柄長	
	最長	最短	最長	最短	最長	最短
標準區	一七、二	一〇、四	二、三	七、九	一、三	三、八
堆肥區	一五、四	九、六	二、八	七、四	一、〇、三	三、五
綠肥區	一六、四	一〇、一	二、四	八、四	一、〇、六	三、一
藥區	一四、四	一〇、〇	二、七	七、七	九、九	三、〇
野外雜草區	一五、六	一〇、四	二、八	七、九	一〇、四	三、〇

2、晚秋蠶期ニ於ケル調査

試驗區	葉長		葉中		葉柄長	
	最長	最短	最長	最短	最長	最短
標準區	一九、五	一六、〇	一、九	三、八	一、九	三、八
堆肥區	二〇、一	一五、二	一、七、七	三、三	一、六	三、六
綠肥區	一九、一	一五、五	一、六、五	三、四	一、三	三、一
藥區	一七、五	一三、五	一、四、六	二、九	一、三	二、八
野外雜草區	一八、三	一四、四	一、五、二	二、三	一、二	二、三

第三表 夏秋期ニ於ケル發育調査

1、枝條ノ伸長ニ關スル調査

標準區	試驗區	調查年次	着手當時 枝條長	伸長量			總伸長量	調查未 枝條長
				七月	八月	九月		
標準區	試驗區	昭和十年	三五、六	一〇、八	七、四	一八、四	一九三、八	二、二九四
		昭和十一年	二九、〇	—	九、三	二六、八	二〇〇、四	二、四九四
		昭和十二年	一四、〇	—	九、〇	三三、〇	二〇〇、〇	二、二四〇



試驗區	調查年次	着手當時 着葉數	開葉數			總開葉數	調查未 開葉數
			七月	八月	九月		
堆肥區	昭和十年	三〇、四	九四、〇	七八、〇	二四、六	一九六、六	二、三〇
	昭和十一年	二七、八	—	七七、四	二九、六	一〇七、〇	二、三八
	昭和十二年	九八、〇	—	八三、〇	二二、〇	一〇四、〇	二、〇〇
綠肥區	昭和十年	三三、四	八六、二	六五、四	一三、〇	一六四、六	一、九七〇
	昭和十一年	二四、二	—	七四、八	三三、〇	一〇七、八	二、三〇〇
	昭和十二年	一〇、〇	—	七九、〇	一〇、〇	八九、〇	一、九〇〇
藁區	昭和十年	三〇、八	九〇、四	五三、八	二二、〇	一六六、二	一、九七〇
	昭和十一年	一〇三、六	—	七〇、八	二〇、四	七八、二	一、八一八
	昭和十二年	八五、〇	—	四七、〇	四、〇	五、〇	一、三六〇
野外雜草區	昭和十年	三三、四	八二、四	六〇、二	三〇、〇	一七二、六	二、〇〇〇
	昭和十一年	一〇八、三	—	五五、八	一六、四	七三、二	一、八〇四
	昭和十二年	九一、〇	—	六一、〇	一一、〇	七三、〇	一、六四〇

備考 昭和十年八月七日、昭和十一年、十二年八月一日ヨリ調査施行セリ

2、開葉數ニ關スル調査

試驗區	調查年次	着手當時 着葉數	開葉數			總開葉數	調查未 開葉數
			七月	八月	九月		
堆肥區	昭和十年	一〇、六	二七、八	二三、四	三、四	七二、六	八、二
	昭和十一年	三三、〇	—	二八、六	一六、二	四四、八	七、八
	昭和十二年	三、四	—	二六、八	一四、八	四三、四	七、八
綠肥區	昭和十年	一一、〇	二六、八	一九、八	一〇、〇	五五、六	六、六
	昭和十一年	三三、六	—	二八、二	一七、八	四六、〇	七、六
	昭和十二年	三三、二	—	二六、八	七、〇	三三、八	六、〇
藁區	昭和十年	一〇、二	二七、六	一九、七	三、八	六〇、一	七、〇
	昭和十一年	二六、六	—	三三、八	三、八	三五、六	六、八
	昭和十二年	二九、八	—	二〇、〇	四、六	二四、六	五、四
野外雜草區	昭和十年	一〇、八	二七、四	二〇、八	一四、六	六八、八	七、六
	昭和十一年	三三、〇	—	三三、四	一〇、〇	三三、四	六、四
	昭和十二年	二七、四	—	三三、四	八、八	三三、二	五、六

試驗區	第一齡	第二齡	第三齡	第四齡	第五齡
堆肥區	七、二四	七、一〇	七、八二	八、四六	七、二八
	七、六八	七、一三	七、六六	七、八四	七、六九
	七、三六	七、五九	七、九三	七、四三	七、三〇
綠肥區	七、三六	七、六七	七、〇九	八、一五	八、二〇
	七、三六	七、六七	七、〇九	八、一五	八、二〇
	七、三六	七、六七	七、〇九	八、一五	八、二〇
藁區	七、三六	七、六七	七、〇九	八、一五	八、二〇
	七、三六	七、六七	七、〇九	八、一五	八、二〇
	七、三六	七、六七	七、〇九	八、一五	八、二〇
野外雜草區	七、三六	七、六七	七、〇九	八、一五	八、二〇
	七、三六	七、六七	七、〇九	八、一五	八、二〇
	七、三六	七、六七	七、〇九	八、一五	八、二〇

第四表 桑葉水分ニ關スル調査  
A 春意期ニ於ケル調査 二ヶ年平均

試驗區	第一齡	第二齡	第三齡	第四齡	第五齡
堆肥區	七、二四	七、一〇	七、八二	八、四六	七、二八
	七、六八	七、一三	七、六六	七、八四	七、六九
	七、三六	七、五九	七、九三	七、四三	七、三〇
綠肥區	七、三六	七、六七	七、〇九	八、一五	八、二〇
	七、三六	七、六七	七、〇九	八、一五	八、二〇
	七、三六	七、六七	七、〇九	八、一五	八、二〇
藁區	七、三六	七、六七	七、〇九	八、一五	八、二〇
	七、三六	七、六七	七、〇九	八、一五	八、二〇
	七、三六	七、六七	七、〇九	八、一五	八、二〇
野外雜草區	七、三六	七、六七	七、〇九	八、一五	八、二〇
	七、三六	七、六七	七、〇九	八、一五	八、二〇
	七、三六	七、六七	七、〇九	八、一五	八、二〇



14.2  
245

昭和十三年四月五日印刷  
昭和十三年四月十日發行

山梨縣蠶業試驗場

印刷者 甲府市東青沼町六百三十九番地 小林 秀

印刷所 甲府市東青沼町六百三十九番地 小林印刷所

B 晚秋蠶期ニ於ケル調査

試驗區	第一齡	第二齡	第三齡	第四齡	第五齡
標準區	七五、五	七三、〇七	七二、五〇	七二、九五	七二、四
堆肥區	七五、八	七四、七〇	七三、〇四	七二、三	七三、三
綠肥區	七四、三	七三、四	七二、〇	六九、六〇	七〇、九五
藥雜區	七四、五	七二、八五	七二、三	七二、四〇	七〇、七七
野外雜草區	七四、二	七三、五	七三、三	六八、七	七〇、七



14.20  
245



終